大正九年五月廿八日印刷納本 大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年六月一日發行（毎月一回一日發行）

處女の友

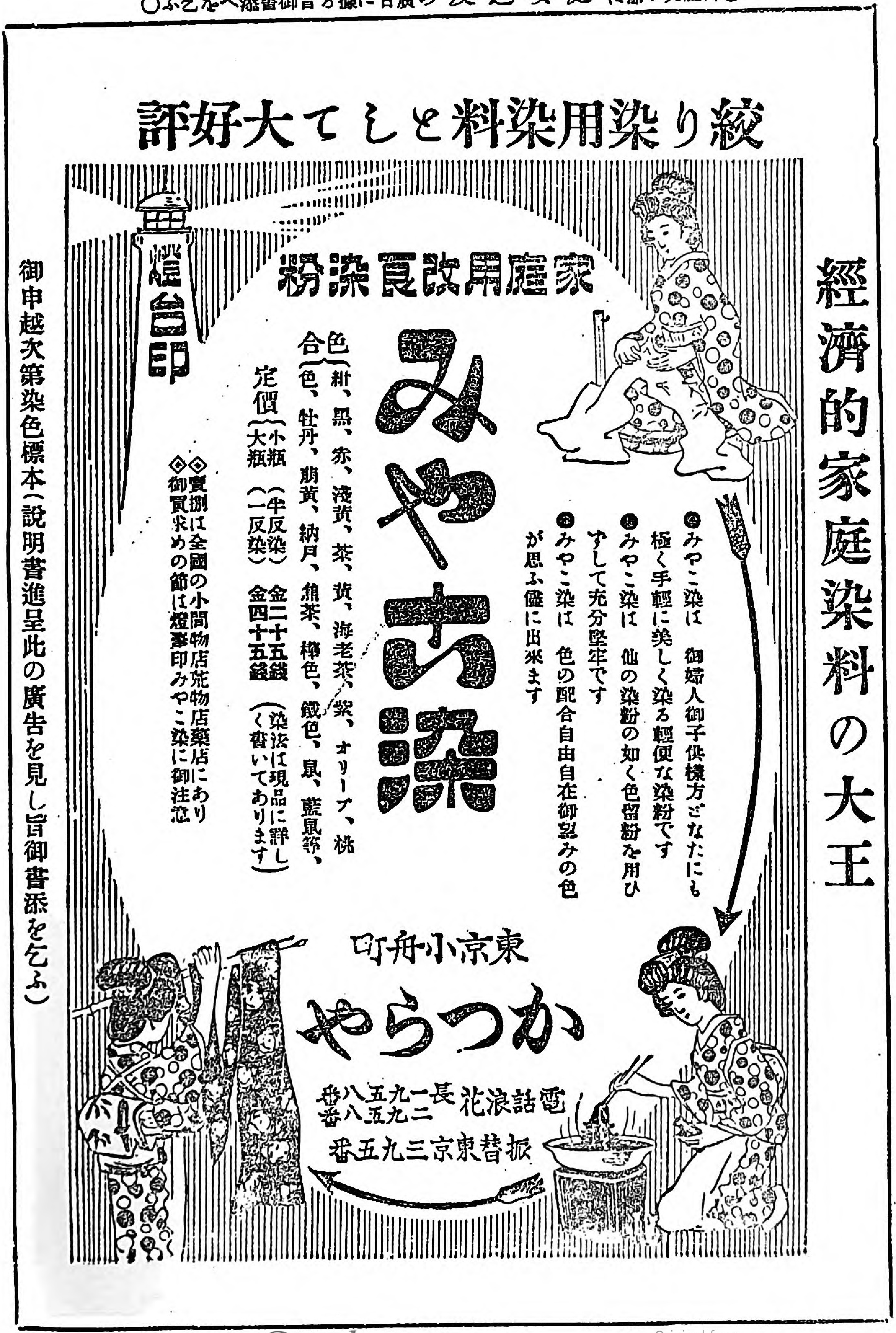
3巻6号

六月

第三巻 處女會中央部發行 第六號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女之友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



初夏の

旅行やおデカケの
日ヤケを防ぐのに
一番——よくキクと
醫者や看護婦方から激賞されてゐる
日ヤケを防ぎ——一度ツケたら手放されない

芳香入化粧料

ホーカー液

——定價大一圓十五錢中五十八錢小二十八錢送料内地六錢滿鮮四十錢

これから日増に賣行きの激増する夏の化粧料

□ホーカーパット
□ホーカー白粉
□ホーカー美髪液
□ホーカークリーム白粉

□全國到處の化粧品店小間物店藥店等にあり若し品切れの時は直接本舖へ御注文を願ひます

東京神田和泉橋
ホーカー化粧本舖
堀越嘉太郎商店
電話神田一三、一四、一五
振替東京一五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友
第三巻第六號

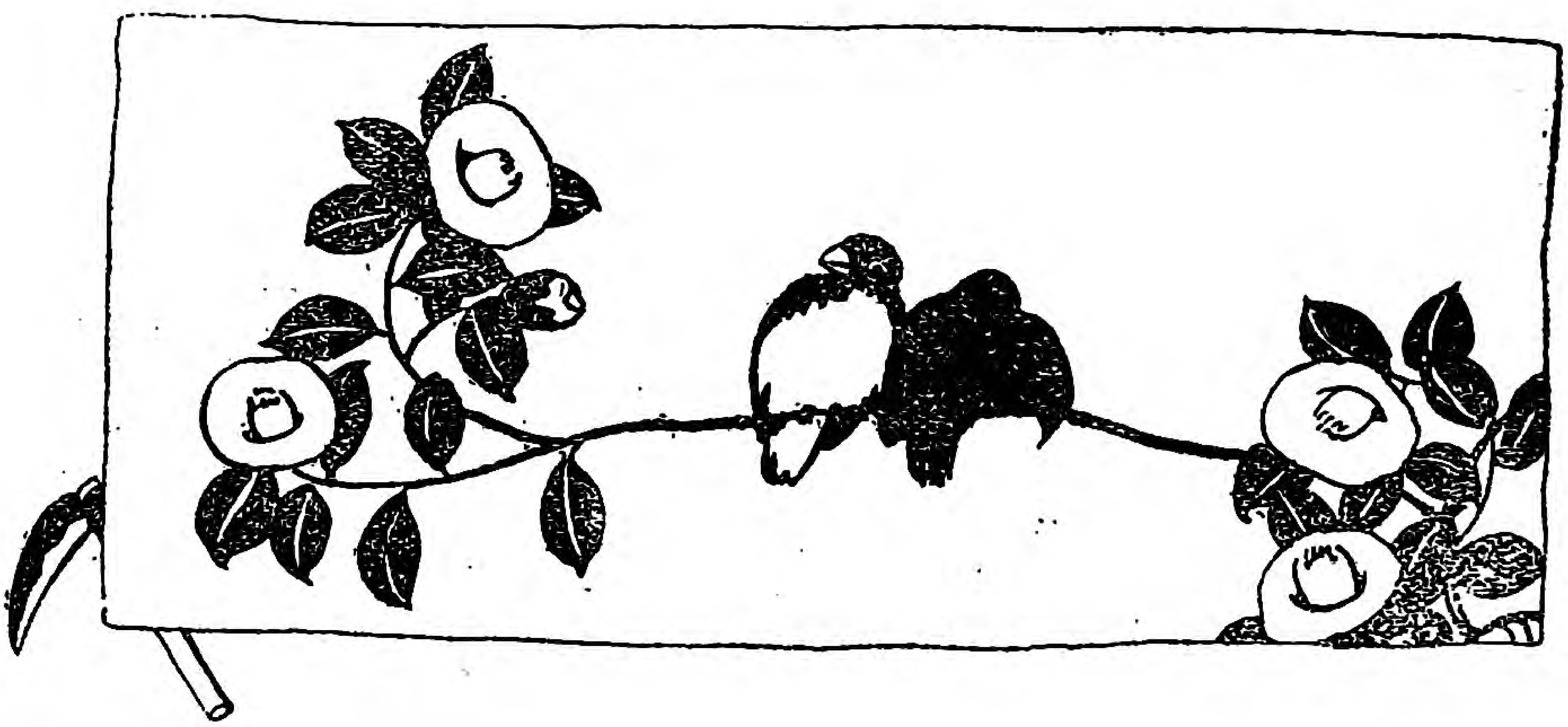
六月號目次

○表紙　野の幸……田代紫光筆
○口絵　處女會中央部評議員（其一）　處女會中央部滿一週年評議員會

▲記事

▽明治天皇御歌……一
△『處女のなやみ號』のはじめに……二
△なやめるものよ汝の名は女也……四
△別れに泣く二人の娘……天野藤男……一〇
△生さぬ仲のなやみ……一八
△心は廣く……小林長吉……二二
△身體に惡いところのあるなやみ……二四
△ついだ着物とわら草履……石川もと……二七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



△都にあこがれて（其九）……白雲生作……六

△都に憧れて家出した人……二四

△野の處女に捧ぐ……三五

△處女會中央部二週年の會……三六

△敎へ草……四一

△猪苗代町處女會みやげ……四三

△千葉縣下の處女會……四四

△敬老劇「老の幸」……小佐田良子……四六

△高木男を思ふ……五一

△地方處女會だより……五三

△誌友くらぶ……五五

△誌友名簿……五六

△懸賞廣告……五七

△たより……五八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

〇御註文の節は處女之友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ〇

前共立女子職業學校教師 遠藤錠子 高田久子共著

新編裁縫全書 上巻（着物の巻）

和裝菊判美製 金貳圓參拾錢 郵稅金十二錢

最新刊

新らしく生れ出でた此裁縫書は從來からある多くの書よりも勝れて居ることは申すまでもありません。本書は多年教授上の經驗と其の技に實地熟達せられし兩著者が如何なる初心者にも手に取る如く分り易き樣に苦心を重ね、あくまで丁寧と親切を以て說かれ、其上に圖は現寸を比例して縮め、一目の下に解りよくなし、又圖を度るに重寶な尺度付の枝折をも添へ尚卷末には特に參考の部を設けて、最新の研究に係るものを配載し、時勢に後れぬことを期してあります。裁縫を學ぶ方々は本書によりて初めて滿足な上達が出來ることを疑ひません、婦人、令孃、學生、諸姉の良師に又教授者の參考に一本を備へられんことを望みます。

女子高等師範學校助教授 神田順子著

裁縫新教授書（上卷）

和裝菊版 定價金壹圓五拾錢 郵稅金十二錢

東京市日本橋區通一丁目 大倉書店 振替口座東京二三八番

處女會中央部評議員（其の一）

湯原元一　安井哲子　山脇玄　天岡直嘉

右ヨリ　南弘　徳川頼倫侯

左ヨリ　一木喜徳郎　堀内文次郎

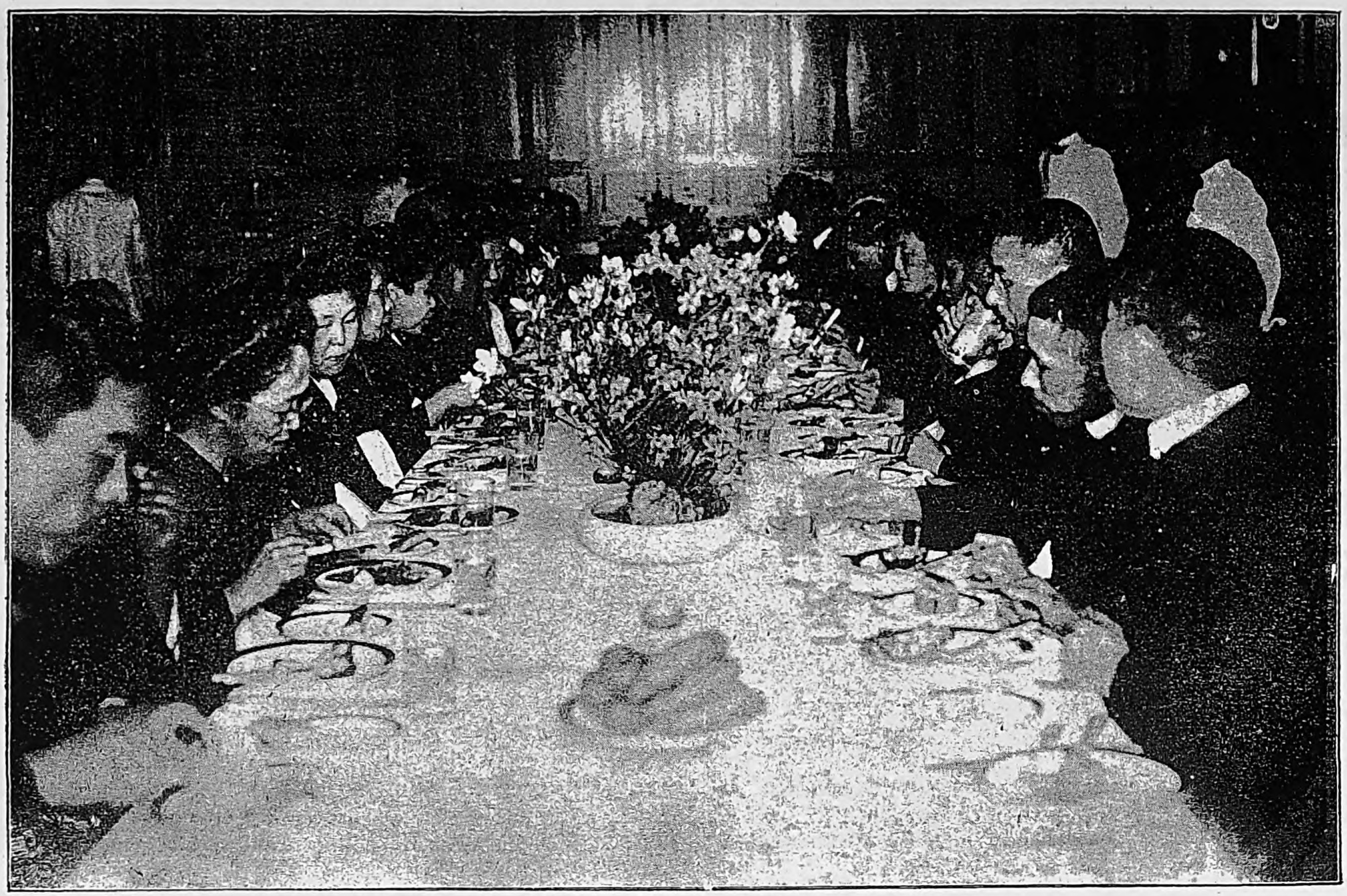
右ヨリ　添田敬一郎　長尾半平

左ヨリ　三谷民子　高島米峯

高島平三郎　宮田脩　田中孝子　下田次郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部二滿週年評議員會（五月五日中央部に於て）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『乙女のなやみ』號

明治天皇御歌

心にはまかせずとても人心
たひらかにこそあらまほしけれ

○

親も子もしたしみ交はし家のうち
賑はへるこそ樂しかりけれ

○

善惡を人の上には言ひながら
身を省みる人なかりけり

○

易くしてなし得がたきは世の中の
人の人たるおこなひにして

○

われとわが心をり〳〵省みよ
知らず〳〵も迷ふことあり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「處女のなやみ」號のはじめに

若葉が初夏の日に照らされて、きら〳〵光つてゐます。筍はすら〳〵と伸びて天までとゞきさう、麥の穗は銀色に輝いて燕が勢よく舞つてゐます。ほとゝぎすが五月の闇に鳴きわたるも勇ましい。すべてがいき〳〵としてゐます。

　しかしゆく春のきのふけふは、一面にものさびしい、たよりない、はかないやうな心が胸にわくものであります。だれにかたよりたい、すがりたい、すがつて泣いてもみたい、あまへてもみたいといふやうな氣がするものであります。つまりあたりの生き〳〵としたけしきに、人の心がおびえてしまふのでせう。

　わけても御婦人、ことに處女たちは、人なつかしく、物思ひにうたれる時であります。まして、胸に物思ふ乙女、心配ごとのある乙女、淋しい生活をしてゐる乙女、家庭の不和に心をなやむ乙女ゆく末を考へて思ひ餘つてゐるやうな乙女にとつては、きのふけふは、淋しく、悲しく、我とわが胸を搔きむしりたいほどの思ひのする時であります。之がゆく春のなやみでせう。そんならどうしたらば元氣よく、たのしく、このゆく春を送ることが出來ませうか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

時候ばかりがゆく春ではなく、皆樣の身體も、ある意味からいへばゆく春です、春宵一刻價千金てふ尊いこのごろを、仕合せに、たのしく、いき〳〵と送る工風を皆樣と御一所に相談が致したい仍で六月の處女の友を「乙女のなやみ」號として主もに若い娘さんだけの相談ばなし、打明け話しなどをかゝげましたのでございます。

之をよい折りとして、皆樣はます〳〵この「處女の友」を御相談相手として、一身上のことはもとより、何事でも腑に落ちぬことがありましたならば、遠慮なく御相談下さい。胸のくもりを去り元氣よく、いき〳〵働いてこそ生き甲斐があります。

又地方の婦人會處女會なども時々は、身の上ばなしなどし合つて、慰め合ひ、勵ませ合ひ、人生の旅路をたのしくきり開いてゆくやうにしなければ、いけません。社會の爲に盡くすことも、人の爲に働くことも必要でありますが、わが身が迷ふてゐては、ほんとうの力は湧きません、まじめなこと、眞劍のことに、はづかしいことはない筈です、誰もみな愛の心を胸に滿たせ其を他の人たちに注ぎ合つてゆけば、嫉妬も疑ぐりも起らぬ筈です、愛の心をつゝまず出して、お友達を樂しく仕合せにする工風をすること、これがつまり處女會の起つた一つのわけです。

然し皆樣のなやみは、母のなやみに比べるとまだ輕いと思はねばなりません。乙女のなやみは、自分の身の上の心配が主もでありますが、母のなやみは、夫のなやみ、子のなやみを引受けねばなりません。皆さんはその母になる人たちです。又若い母樣も澤山ありませう。なやみに打克ち、なやみを轉じて仕合せとする工風が肝心でありますつまり心の強い人とならねばなりません。其には今からの心がけが大事です。娘のときにいろ〳〵のなやみに打克つた經驗があると、年老つてからの苦しみはそれほど苦になりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なやめるもの汝の名は女なり

一　望みがあれば悶あり

『弱きものよ汝の名は女なり』とはよく女を無力な弱く〳〵しいものとする時に使ふことでございます。然しわたくしは、弱い代りに『なやめるものよ汝の名は女なり』と申したいのでございます。殊に今の若い乙女には、いろ〳〵の惱みが多いと思ひます。

尤もこの世は苦娑婆と申します。わたしは仕合せだといふ人は、男にも女にも澤山ありますまい。男でも女でも、お孫の守するお婆さんにも、お猿さんををんぶしてゐる花ちやんにも、みなそれ〴〵の苦勞がございます、全くわが身の幸を感じてゐる人は、聖人か、さもなくば、神經の鈍い人であるかも知れません。

人には希望といふものがあります、向上心といふて今の境遇から、だん〳〵上に進んでゆきたいと希ふ心がございます、その向上心があればこそ希望もあるのです。けれども世の中は複雑で、わが思ふようになりません、それで思ふことと實際とは、いつも違ひ勝であります。それで失望といふものが生ずるのでございます、希望と成功との差が失望でございます。この失望から煩悶も起れば、不平も湧く、自分ひとり失望して外の人が目的を達する、仍で嫉妬も起る、猜疑心も起る、これが昂じると、悲觀となります。世の中が味氣なく、花をみても、鳥を聞いても、面白くも可笑しくもなくなります、こうなると、浮世がいやになります、之を厭世といふのです。これが昂じると、生きて、

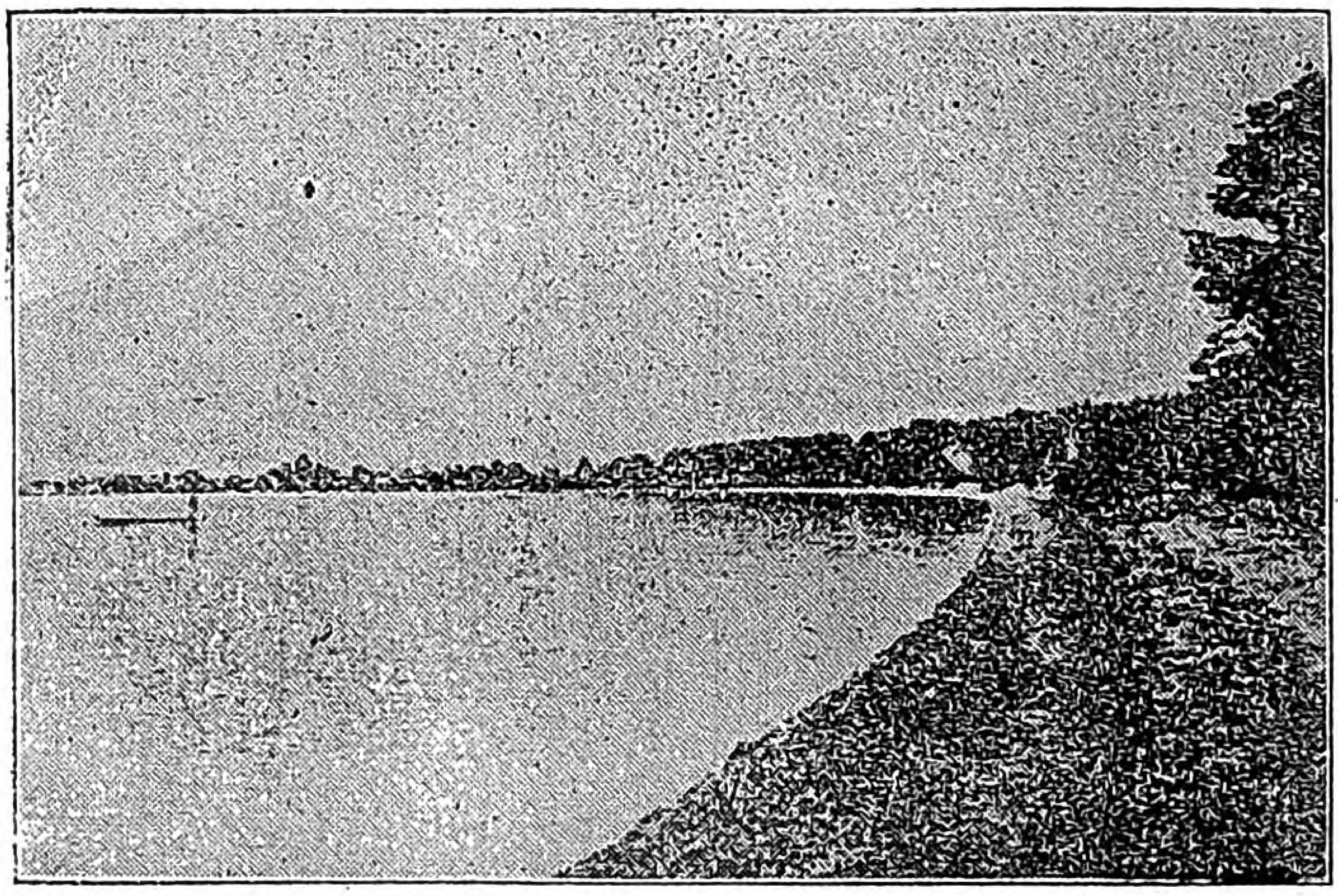
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ゐるのがいやになり、とう／＼かけがへのない命をすてゝしまふ。厭世自殺がそれです、首をくゝつたり、海に飛び込んだり、鐵道線路に飛び込んだりします。このごろことにかような血なまぐさい事件が多いのでございます、然しこういふ女は生れ落ちる時から自殺をしようと覺悟したわけではさら／＼ないのです、みなこの人生を樂しく幸福に送らうとした人です、其が浮世の實際に入つてみると、いろ／＼考へてゐることゝ違ふので、ツイ煩悶するのです。その煩悶に打克てない人がこうして尊い命をすてゝしまひます。

三　なやみのいろ／＼

一口に煩悶とか苦勞とか心配とかいひましても、その內容はさま／＼でございます。時で言へば、一時的のなやみもありますれば、永い間のなやみもありませう。又自分だけのなやみもあれば親兄妹にかゝはつたなやみもありませう。又小さななやみもあれば生涯にかゝはるほどのなやみもありませう。花ちやんが金米糖をお母ちやんにねだる、下さらない、此もなやみです、武ちやんが散步をねだる、お父さんが御用が出來て出られない、是も武ちやんにとつては、なやみです。

然しこゝにいふなやみは、相當な分別のついた若い婦人のなやみのことであります。顏の異つてゐるやうに、なやみもさま／＼でございますが今之を大くわけますと



猪苗代湖　（福島市　君子寄）

一　身の上のなやみ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

二　家庭の圓滿にゆかないなやみ
三　結婚についてのなやみ
四　交際についてのなやみ
五　生活についてのなやみ
六　身體についてのなやみ
七　職業についてのなやみ
八　人に使はれてのなやみ
九　子孫についてのなやみ
一〇　夫についてのなやみ
一一　世間についてのなやみ
一二　社會問題、婦人問題についてのなやみ
一三　女として、人としてのなやみ

こんな風になればしないかと思ひます。固よりこれは大別であるばかりでなく、是はお互に關係があることで、この中一つだけであとは滿足してゐるといふことはないものです、三つも四つもなやみのあるものもあれば、其から其へと順になやみが起ることもありがちです。然しまあ大體この中のどれにか、はいることゝ思ひます。

四　身の上のなやみ

はじめにも申しました樣に、人には希望がある間はなやみは免れぬものです、身の上のなやみは女に一番多いことで、考へようによると、二から十二までみんな身の上のなやみにも入れられます。殊に今まで女は（一）男より弱いもの（二）男の附屬物（三）智識の足らぬものといふように、見下げられ、卑く取扱はれて來ましたので、何につけても、割合がわるく、從つて煩悶が多かつたのでございます、ことに「女は三界に家なし」といふようなことを言ひふらしたので、是がどれ丈女を弱く、腑甲斐なく、女々しく、たよりないものとしたことでせう。女が獨立心に乏しく、化粧三昧に浮身をやつして居つたのは、つまりこゝからも來てゐると思ひます。

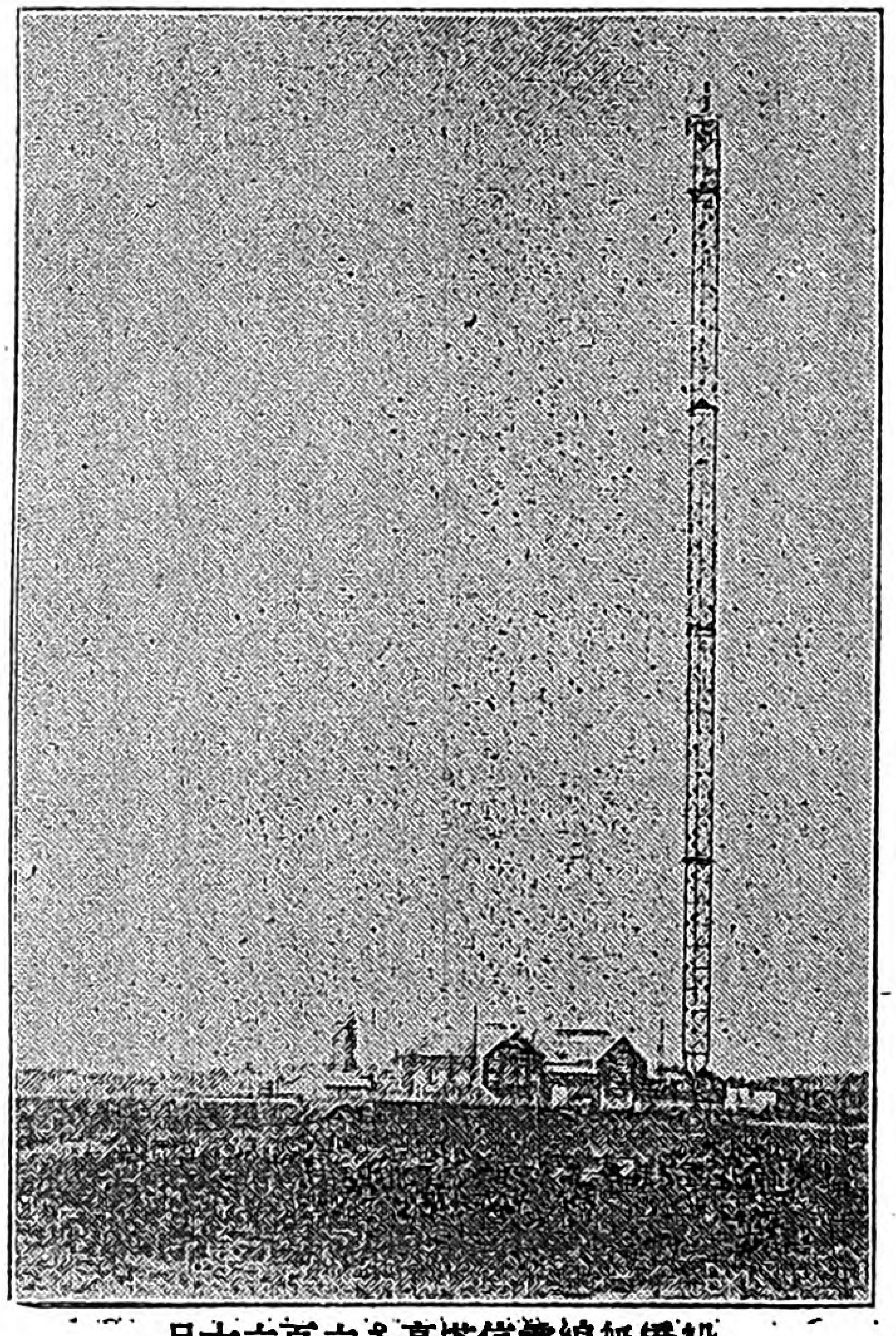
わかりやすく言へば、今までは女そのものは、生れ落ちるからなやむやうに、出來てゐました、智識をも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

授けず、身體をも鍛へさせず、職業をも授けず、只美しくなれ、柔順であれ、忍耐しろ我まんしろ、長いものにはまかりよ、常にニコ〱せよ、おまけに子がなければ去れ、といふように無理なことばかり負はされて來ました。こうした運命の下にある女性になやみの多いことは申すまでもないのです。誠にお氣の毒であつたのです。

五　女のなやみは受け身

男の身の上ばなしは、どちらかと言へば、呑氣です苦勞も多いでせうが、自業自得の苦勞が多いやうです若い身空で放蕩をして、勘當して北海道へ出稼ぎして坑山に半死半生の目にあつて逃げ出して今こうして車ひきをしてゐますといふやうな、氣の毒ではあるが、



船橋無線電信塔高さ六百六十尺

原因結果が分明のなやみが多いのです、之に反して、女の身の上ばなしは、そのいきさつがふくざつです、べてが受身であります。自分で苦勞の種子をまいたのは少く、家庭から、夫から父母から種子をまかされて、其が女の胸に、お腹に芽生える、其をどうしようと自分の小さい胸でまよふ。女は心が小さいといひますが、私は、さう思はない、もとは大きく廣かつたのですが、世間が、男が、狹く小さくしてしまつたのです。つまり男が苦勞の種子を女といふ畑に蒔いたのです、其が女の畑は柔らかい、涙といふしめりもあるので、よく生える、苦勞の種子が生える尤も最初はそんなに苦勞とは思はぬが、だん〱芽が大きくなると、思ひあまる苦しみの華がさく、さうし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てしまひには泣きなやむ、といふやうな場合が多いのです。

　處女たちの身の上は、まだそんなにふくざつではありますまい、然しお嫁さんになると、なか〳〵面倒なもの、論より證據お嫁さん三四人の集つて物語つてゐるのを聞いてごらんなさい、みんな身の上ばなしです家庭の面白くない話し、姑のやかましい話し、叔父伯母がどうしたとかいふ話しでもち切りです『如何に子女を教養すべきか』『地方改良と婦人の使命』といふやうな話題は少しも上りませぬ。どうか私どもは、是からの世の中を男女平等にして、女の特別な苦しみ、なやみを減してあげたいと思ふ。其には家族制度を改良することも必要ですし、男の氣持を改めさせることも必要でせう、然し露骨に言へば、女そのものにも罪があります。なやみの種子を蒔かれても、もうめつたに生やさぬことです。女は悲しいことはきらいなくせに芝居でも泣きたがる、悲劇が好きです。是からは女自身も、もつと〳〵強く、しつかりとすることが大事です。女がなやみの性ですから男が種子をまくのです。幸ひ近來の娘は心も身體もしつかりとして來ましたがもうひと奮發です。

六　家庭不和のくるやみ

　次は家庭の不和といふことであります。若い娘の家出の原因は大抵此であるといふて差支がございせん。家庭の不和と一口に言つても家庭に依つて一樣に言へないこと申すまでもありません。父母の膝下に愛護され、兄妹と暮らしてゐる家庭にあつては、たとへ頑固な昔かたぎの父親でも家出しようといふほどのなやみも少いことゝ思ひます。又兄妹喧嘩も致しませうがもと〳〵血を分けた同胞です、仲がよいからこそ爭ひもする、人知れず泣くといふなやみの少いわけ、尤も父母の仲睦まじくないのを、子として娘としてなやむといふ例はありますが、是等はまづ姑らく置きませう。

　一番多いのは、お母さんが違つてゐることのなやみの樣です。たとへ違つてゐても、かけがへのない父の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新らしいつれ合ひなので、お互に諒解し合ふ筈ですのにどうもさうゆかぬものと見えます。東京に來て賤しい稼業をしてゐる憐れな女（娼妓）の多數は、まゝ子であると申します。又若い娘の家出は大抵お母さんが違ふのがもとであるようです。繼親繼子といふその名からしてなつかしくないのです。義理ある親子ならば尙仲よくし合はねばならぬ筈ではありませんか、けれど、どうも圓滿にゆかない、その中子供さんが生れる繼母の氣持が違つて來る、其を繼子はひがむ、といふやうなことで、その中娘は年頃になる、遠慮と氣兼ねが伴ふ、其を繼母は妙にとる、世間が噂するといふやうなことになり、ます／＼面倒になります。

二　繼母といふ文字がきらい

私はどうかして、先づ繼母となる人の心持を純にしたいと思ふ是が根本です。自分の子も、前妻の子も、父はひとつ、人としてはみな愛らしいのです、寧ろ亡き人のかたみとして、よけいに愛を注がねばならぬ筈です、自分の生んだ子だから愛らしいといふような考へは、小さな考へです。ほんとうの愛があれば、萬人を愛す、一樣に愛するに至るべきです。世間の『繼親いぢめ』『繼子いぢめ』といふやうな文字が旣に床しくないのです。繼母となる人の修養是が第一に御願ひ致したいことです。

次は繼子ですが七つ八つの時には、深い考へもないのですが、年頃になると前の母を思ひ出しては泣く、また年頃になつて新らしい母を迎へると、奥歯に物が挿つたやうによく打解けない、是はよろしくないと思ふ。そういふ考へをすつかり去つて、母の愛に親しむべきです。ほんとうを言へば『ねえお母さん妾は繼子で隨分御心配でしたらう』と親子で何の遠慮氣兼ねもなく語り合ふやうにならねばいけません。繼子だからいぢめるといふことの正しくないことは申すまでもないのですが、繼子だから、自分の子より可愛がるといふのも、一つのひいきです。つまりお互の心の持ちやうです。（以下次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

別れに泣く二人の娘

=工場から秋田の田舍へ=

天野藤男

はる子さんは、富士瓦斯紡績會社の〇〇工場の女工さんで、「處女の友」の愛讀者でございます。本年一月八日に、本誌へお便りを下さいました、(二月號「私の身の上は房子さんのやう」をみて下さい)大變やさしいまじめな娘さんであります。私は一度お會ひしたう思つて居りましたが、さう思ひながらいゝ折がなくそのまゝになつて居りました。すると先頃次のお手紙が來ました。(事務所から廻つて來ますのでいつも手紙が少し後れて手に入ります。)

*

拜啓あゝなつかしき思ひ出多き都よ、あゝ記者樣私は記者樣方にもうお別れでございます。あゝ思ひ出せは一月八日の夜「都にあこがれて」を見て感じただけを知らせしがもとゝなつて、記者樣よりは誠にありがたき御手紙をいたゞき、自分も又心に有りだけのことをお話して又愛讀者とまでしていたゞきまして、誠にお禮の申樣もございません。

あゝ私は今は處女の友の愛讀者でございます。私も今はうつかりしては居られません。これから

△私も國へ歸りまして

一には神樣にすがりまして、處女の友の愛讀者らしき行がして見たいと考へて居ります。私にこの思ひがかなへるでしようか、記者樣が私は敎へてくだすつたあの御話「常に心を和らげいつもニコ〳〵と」これさへ守つてゐましたら出來ないことはないだらうと考へられます。

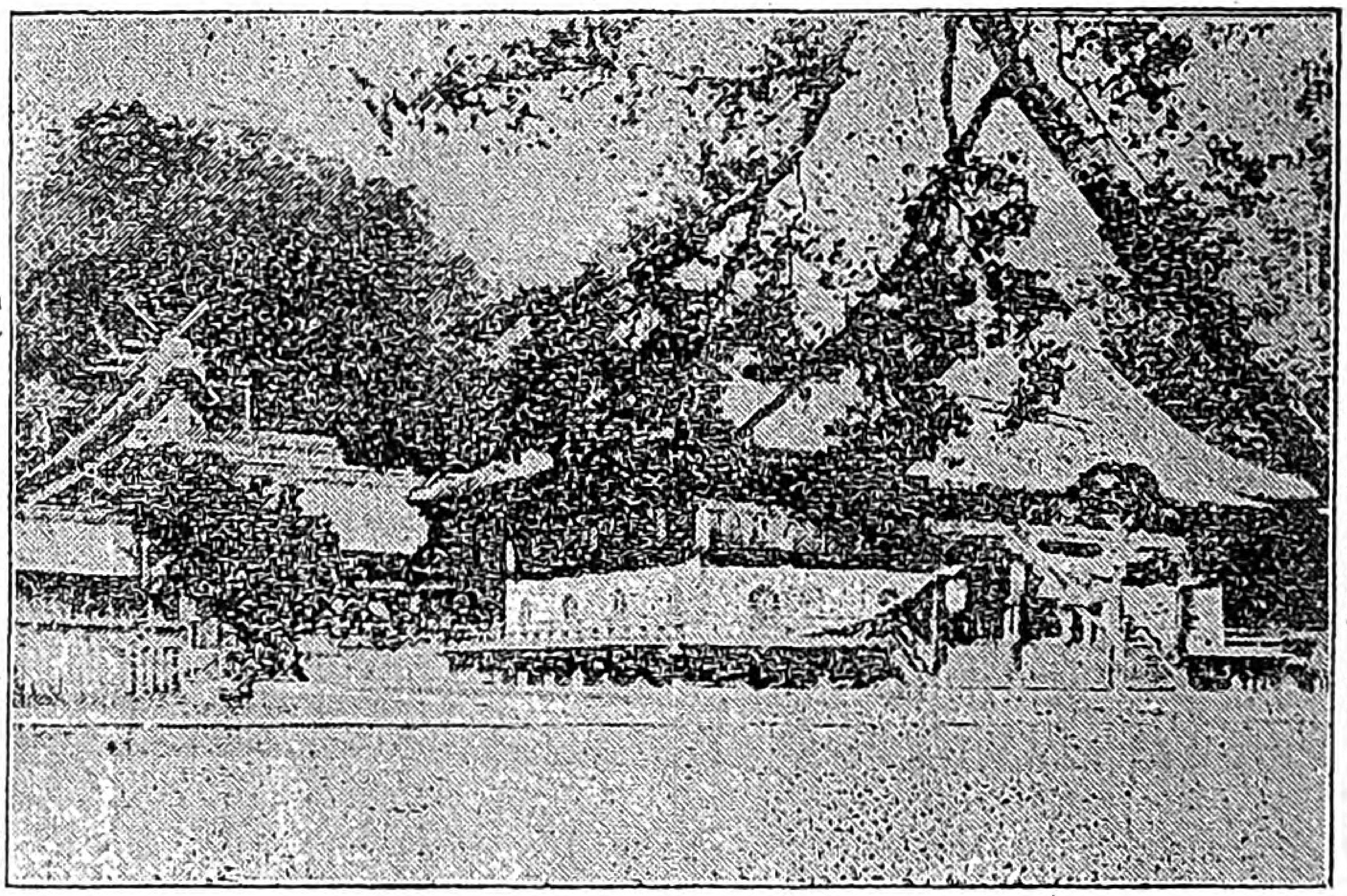
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

あゝ私はもう都にあこがれたくありません。しづかな田舎で、

△親子水入らずの暮らし

がしたうございます。あゝ私には其が出來ましようが、母がちがつて居ります又兄には近頃もらつたよめが居ります。そうした他人の居る一家をむつまじくするにはどうすればいゝでせうか、あゝ私にはとても出來ません。唯神にすがります、神樣は私を必ず助けて下さいます、記者樣もどうぞ私のために絶えず祈つて下さい。お願ひでございます。私は今この會社をはなれて行くのはつらうございます。かりにも四年をすみなれし我家ですもの、この家には、私が四年の間

出雲大社



(濱野秀野寄)

の悲しみ又くるしみ、又たのしみ色々の思ひ出の一つ〳〵が殘つて居ります。

又私が今この東京をはなれて我が生れ故郷へゆきますれば、記者様には、もうあへない様な氣がせられます。

又會社にもしたしき友がたくさん御座います、あゝもう私はこんな事を考へて居られません。私には大事な〳〵一つのつとめがあるのです。

我家の一家を中むつまじくするつとめです。どうぞ〳〵記者様小さな私の爲に、神に祈つて下さい、くれ〴〵も御願ひ致します

千里の道をへだつとも
同じ雲ゐの月をながめ
同じ御神に事へまつらん
音信もとほきたびぢなれば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いざゆく身もとゞまる身も
なごりはつきじこのむしろに
〇〇より

あゝなつかしき
記者様方へ

鉛筆をなめ／＼してかいたこの手紙をよんで涙を出さぬ乙女がありませうか。私は、純なこの娘さんの爲に、神に祈りました、そしていろいろに〇〇子の俤を胸に浮べてみました。工場に咲く白百合の花だ、文章も上手でない、字も下手だ、然しなんといふ心持の純な乙女でせう。少しも汚れない、まじめな、そうして眞劍な氣持がこの文章にあふれてゐます。書こうと思つてかいた手紙でなく、血と涙が鉛筆に傳つてそのまゝ文章になつたのでせう。　私はすぐ次の御返事をかきました。

〇〇子さんへ

あなたの御手紙よんでゐる中に、涙が流れて來ました。然しよくつとめを了つて御歸りなさる。お別れもつらいでせうが、まあお目出度い、ソリヤつらいこともあつたでせう、悲しいこともあつたでせう、然し病氣にもならず、無事につとめを了へてお歸りなさる。お目出度い。

然し〇〇子さんあなたのお母さんは違つてゐますとか、そして兄様のおよめさんも出來ましたとか。然し〇〇子さん、人には惡るい人はないもの、只心持だけです、お互に心持がわかり合はない、そこで衝突するのです。

△義理ある母、義理の姉です

よけいにむつまじく、仲よくしなさい、あなたが愛の心をもつてゐれば、その心はいつか母樣に姉さまに通じます。もと／＼人の情は一つですもの、あなたは工場でよい修業をなすつた、家庭はきつと／＼よく治まります、祈りますとも／＼、たへず祈りますよ。きつと／＼神樣は純なあなたを守つて下さる。「小さな私の爲に」いえ／＼小さくはない、小さいと思ふ心が大きく廣いのです。其から〇〇子さん私はあなたがお家に歸られる前に一寸あひたい、お目にかゝりたい、狹苦

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

るしい所ですが來て下さい。尙工場のお話や、お家のお話や、いろ〳〵御話し伺ひたい。おせんべいでもたべながら話しませう。私は先生でもなんでもない、あなたの忠實な友達です。御尋ね下さい。きつとお出で下さい。

こうかいて封筒に入れて、宛名をかいて置きまして、次の手紙を順にしらべてゆきますと、處女たちの作文もあれば、習字もございます。會長さんの手紙もございます。その中〇〇工場内〇〇〇子よりといふ手紙が目に入りました。〇〇子と同じ工場の工女さんから來た手紙、なんだらうと封を切つてよんでゆきますと、其は〇〇子の仲よしの〇〇子から來たのでした。　原文をそのまゝ出します。

〇友を思ふて泣く涙

惡筆おゆるし下さいませ、私は今仕事をしまつて室にかへつて來て、この御手紙を上げますよ、花咲く春の氣候と成りまして、ほんとうに生きかえつた心持になりましたねえ、先生方々樣は御かはりは御座いませんか、一寸御うかゞひ申します、私は去年の二月から工場に働いて居ります者でございます。そして〇〇〇〇子さんは私より二年ばかり早く來て居りましたので、色々と親切にせわをして下さいましたので、毎日の日を樂しく暮して居りましたが、何んにつけても不仕合の私でございまして、

△少さい時に母樣に死にわかれ

遠く古里をはなれて奉公に出ましてまわりまわつて今はこの〇〇〇工場に働いて居ります。すこしの間にも死んだ母を思ひ又父さんやいもうとを思ひ出しては、仕事も手に付かずぼんやりとして居る事が日に何度あるでせうか、其の度に〇〇子さんが色々となだめて下さいますから心をもちなをしては働きました、それこれして居るうちに、月日は早くも半年をばすぐさり、七月の二十六日に皆さまも御承知のとうりまことの神さまを信じてこのごろでは、樂しく暮して居ります、所へ今年の一月この處女の友といふ本を會社で買つて下さいました、私と〇〇子さんとは、何より本が好き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

でございました、ひまさへあれば、二人で本をよんでは話し合ひしては、かなしい本などよむとすぐ自分の身にくらべては二人で泣いてばかり居りました、そしてその時もいつものやうに〇〇子さんと二人で手を引きながら御家に歸つて來てみると、本がありました。私たちはもう〳〵うれしくてそのまゝよんで見ますと中の方には大さうよいことばかりかいてありました、私は「都にあこがれて」のところを一ぱんさきによみまして、おふささんや、お君さんを大さう氣の毒に思ひまして、おもはず

△ひとしづくおとし

ました。

それから「吾が家のために」といふ所がたいへん私の身によくにて居りますのです、私しも今年十七歳となりましたからなほさら氣の毒でたまりませんでした。そのうちに一さう〇〇子さんと仲よしとなり今日までくらして來ましたが、何しろ〇〇子さんはもう三年の年も明けましたから、今月の十一日に家にかへりました。その時の私しのかなしさは、たとへやうもございませんでした。兄弟ともちかひし〇〇さんに、今すてられて、何のたのしみがありませう。私は門の外まで送つて出まして、其の時に神樣のことをおしえて下さる方がきて、さうべくかいのさんびかを歌つて下さいました。私と〇〇子さんとは、

△何も言はずすゝりないて

わかれををしんで居りました。するうちに、早くもてるちやんの乘る車は、いせいよくはしつてきました、すると〇〇ちやんは、今と成つてはせひもなし、車の上の人となりました、車はまもなく走り出しました、私はあまりの悲しさに、何も言はれませんでした、さようならの一言をのこして車はいせいよく走り出しました、其で私はお友達からなぐさめられて、やつと泣き止み室に歸つて〇〇ちやんの寫眞を眺めて又も涙に目をくもらせて居りました。〇〇ちやんが行つてのち

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、何にもたよりに成つてくれるものをありません。けれども私にはたゞ一つあります、それは言うまでもないこの處女の友でございます。(中略)

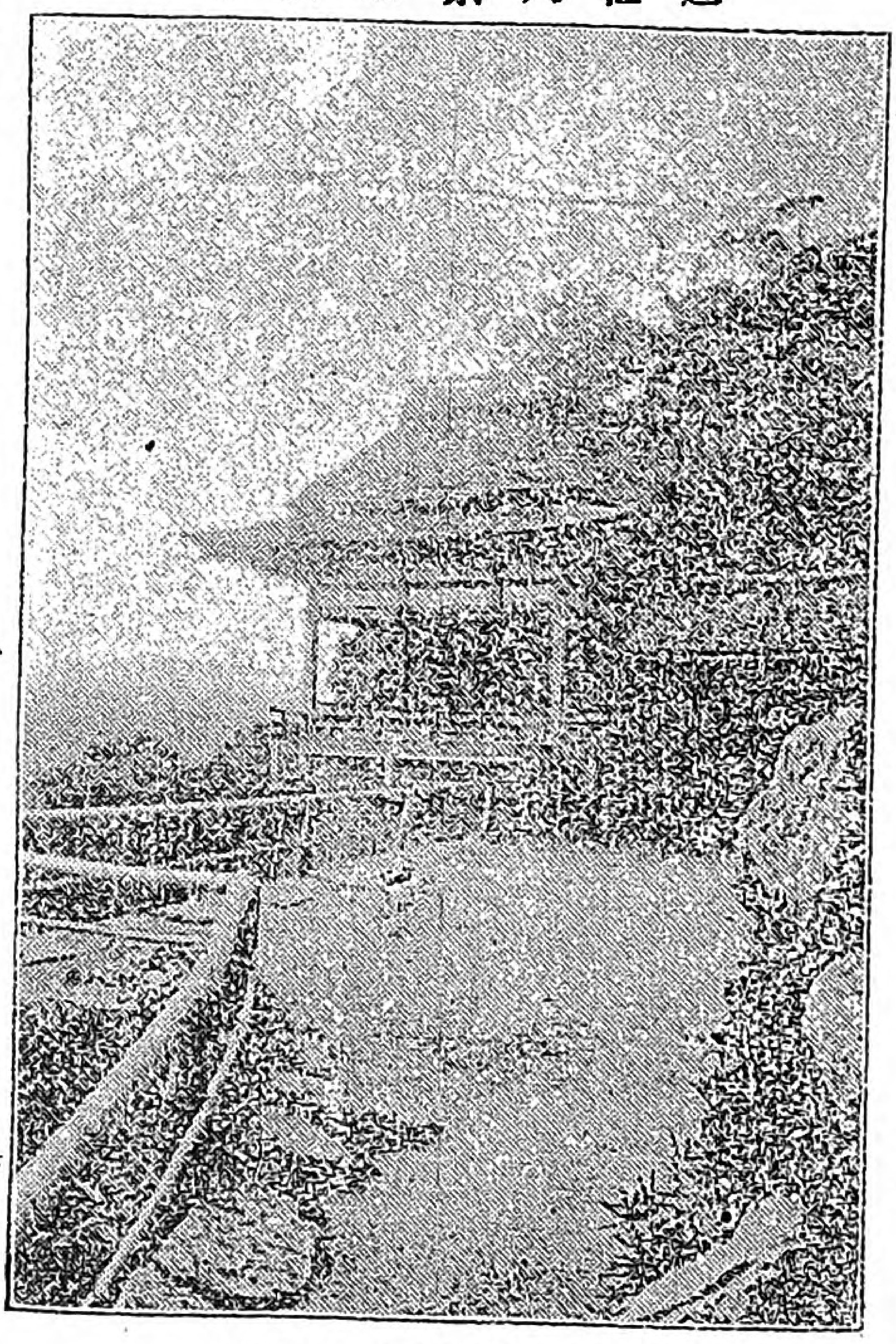
まだ〳〵かきたいことは山々ありますが今ばんはおそくなりましたのでこのつぎにいたします。

さびしき○○子より

○○子さんへ

○○子さん、あなたは○○子さんとの別れををしんで泣いた、私はあなたと○○子さんとの仲のよさ、人情の温かさにツイ涙を誘はれて幾度か泣いたことでせう。聲を立てゝ泣きました。あなたが泣いてゐられるところは、私も泣かれます、いや〳〵涙ある人はみんな泣きます。涙は愛のながれ、情の流れです

近江八景石山寺



(滋賀高野ふみ子)

それにしても○○子さん、私は○○子さんが、もう國へ歸りましたといふ所をよみはじめると、オヤと叫びました。あゝもう歸つてしまつたのか、もう二日早くこの手紙が廻つて來ればよかつたあゝ殘念したと

あなたの手紙を手ににぎりながら机に泣き伏しました。四年間工場で苦しみ、悲しみ、且つよく働いて下すつたあなたの仲よしの○○子に、一度お合ひしたかつた。あゝ殘念しました。遠い〳〵秋田へいつてしまつたのですか。

△記者樣にももうあへないやうな氣がしますとは、何んといふ悲しいことでせう然し○○子さん、千里をへだつとも、心が通へば心

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

強い、私は〇〇子さんにかいた手紙をそのまゝ、それから別にあなたのお手紙をよんでからの手紙と二つ一所にして〇〇子さんに送りましたよ。今ごろは、よんでゐるでせう。私はあなたの仲よしの〇〇子さんの爲に祈つてゐます。一日に一度はきつとお祈り致して居ります。よいお心掛の〇〇子さん、今まで苦勞をなすつた〇〇子さん、これから一家を仲むづましくされるといふ〇〇子さん、ほんとうになんといふよいお心でせう。あの心持さへあれば、きつと〳〵平和にゆきますとも。お母さんは違つてゐても、お兄樣におよめが出來ても、きつと〳〵平和にゆきますよ。〇〇子にも時々はたよりして、勵ませなぐさめてあげて下さい。優しい上に強い女となるやうにね。

秋田の田舍、もう雪はないでせう。私は秋田は知りませんが淋しい山里に春も訪れたでせう、野にも若草が萠えたでせう、雲雀が高鳴いて桑の葉はしげる、田のすき返しがはじまると、姉さんかぶりした十七八の乙女が藁家から出て來ました。品のいゝをちついた子です、鬢のほつれを氣にしながら甲斐〳〵しく野に出ました。

乙女はいま鍬をおいて木の株に腰を下してひと休みしてゐます。乙女はふと東の空を眺めてヂッと考へ込んでゐました。その中眼はくもつて來ました、袖を顏にあてゝゐます、その中また爽やかな顏になつて、しづかに胸に十字をきつて、

△春風に讃美歌

を歌つてゐます。

あゝ〇〇子さん、其が〇〇子さんのやうにさう思はれます、淋しげな乙女の讃美歌が聞えるやうです。

〇△子さん、道に學ぶ人は仕合せです、物質の上にのみあこがれてゐる人は、物質に望みを失へば、きつと悶えます。私たちは、心の奧深く自分で自分を慰める所がなくてはなりません。奧の方へ奧の方へと悟つてゆかねばなりません。誰でもがこういふ氣持になれば、世の中はほんとうに、情深い、愛の世の中となる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

のですがねえ。心はみなひとつです、只其の誠が胸の所まで溢れて來ながら、其が正しく現れません。それで、誰がにくい、誰がうらめしい、といふやうになるのです。

あなたはよい友をもつてゐます、〇〇子さんもよいお友だちをもつてゐます。一人の忠實な友は、不深切の萬人にも當ります。どこまでも、信じ、愛し合つて進みなさい。あなたが思つてゐる如く〇〇子さんもあなたを思つてゐられるのです。

私どもは、あなた方に對して忠實でありたいと心から望みます。信じて下さい。何でも御相談相手になりませう。あなたは十七才、まだ〱これから、花ならつぼみの頃、浮世の雨や風やその若いあなたには、さぞ苦しいことがありませう。然し雨に風を耐えしのんでゐて下さい、やがて花を開く時が來ませう。今は冬ごもり、雪に風に苦しみを忍んで下さい。工場にゐると、まだ〱あなたに對して、いろ〱よくないことを誘ふ人があるかもしれない、又あなたの心をわかつてくれない人も澤山ありませう。悲しんでも、嘆いてもいけない、そのような時には、神におすがりなさいませ。工場に咲く

△白百合の花

そのような人になつて下さい。まだ〱かきたいことが澤山ありますが、私も忙しいので是だけにします。身體がもと、よく氣をつけてね。

△爲になる歌

極樂は西にもあれは東にも
　きた道をさがせはみな身にもあり

佛とはいかなるものと思ひしに
　何も思はぬ心なりけり

心より心は安くなるものを
　心でさわぐ我心かな

草の葉のほと〱にをけ露の玉
　重きは落つる人の世の中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

生さぬ仲のなやみ

◉三ツの時母に別れ

女工さんからこういふお手紙が來ました。

『私は四年前からこの會社に働いてゐるものでございます。私は三つの時に母親に死に別れすぐ里子にやられました、七つの時家に歸りますと御父樣は後の母樣と二人で、遠い北海道へ行つてしまひました。後にのこされた私と姉さんとは、年とつた老母にそだてられました、私は友達みては死んだ御母樣の事を思ひ、人知れず泣く事が度々ございました。私が四五年前に北海道にいつたとき、御父樣の心はすつかり變り、私達二人につらくあたるやうになりました、其の時私は一人の友達が會社で働いてゐる事を思ひ、自分はどんな難義をしても友達と一緒に働こうといふ考へで、私親のそばをはなれて來たのが今から四年前のことです、私が會社に出てから死んだ母を思ひ、一日も面白く働いた日はございません。其の内に幸なことには、眞の神樣を信じ、今は樂しい月日を送つて居ります。(下略)

其から『處女の友』のことからゆく末のことこま〴〵と相談をかけられました。

◉お氣の毒な君子さん

皆樣は御兩親揃つて御達者であられること〻思ひま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

すが、中にはまた繼母のお世話になつて居られる方もありませう。又大勢の中には、縁あつて後妻となる方もありませう。そこで少しこのことをお話ししたいのです。

工女になつてゐるきみ子さん（假りの名）あなたはお氣の毒です、三つの時にお母さんに別れなすつた、三つと言へばまだほんとうの赤ちやん、物心がつくかつかぬころです。あんたはお母さんを戀ひ慕はれるが亡くなつてゆくお母さんは一層悲しかつたでせう、ゆく所へもゆかれぬ位に悲しかつたでせう。あなたは恐らくお母さんの面俤を覺えてゐらつしやらないでせう。それともねんねん子守唄を歌つて寢かして下すつたお母さんの顏がぼんやりと映つて來ますか。

きみ子さん、あなたが表を通つてお母さんに手をひかれてゆく娘さんをみたり、お母さんの手を引いてゆく娘さんの姿をみて、亡くなつた母樣を慕ひなさる、ほんとうにお可愛さうです。さぞ羨しい悲しいと思ひなさるでせう。お父さんお母さんは天にも地にもかけがひがない、

△千年萬年呼べど叫べど

天からも地からも生き返つて來ません。お察し致します。けれど〱きみ子さん私には、あなたのお母さんが遠い〱天の上で、あなたを守つて下さる樣に見えます。きつと〱守つて下さる、亡くなりはしません。亡くなるものですか。あなたが、お母さんを慕つて泣いてゐられる間は、お母さんも天の上で泣いてゐらつしやる。あなたの眼から涙が流れず、あなたがにこ〱とする日が來ますれば、天上のお母さまも滿足せられて始めてゆく所へゆくでせう。あなたが神を信じて樂しく暮らすやうになりましたと聞いた天上のお母さんは、さびしいながら、につこりと笑つて、お母さんも亦天を仰いで神樣にお祈りなすつたでせう。

然しきみ子さん、あなたの今のお母さん、その方があなたの心を理解して下さらぬ間は、天上のお母さまも、ほんとうの御滿足は出來ませんでせう。あなたの

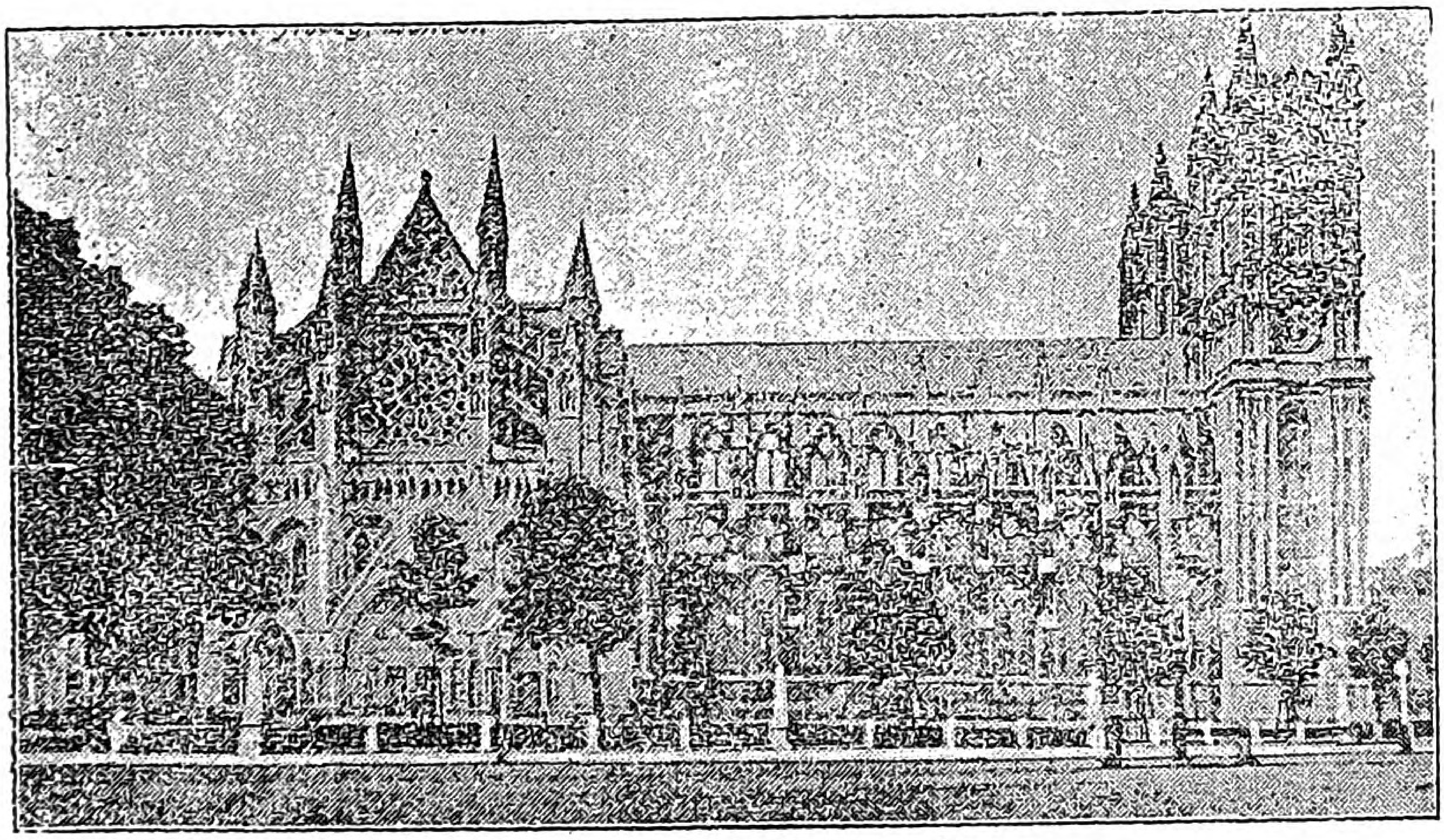
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お母さんを私は知りません。繼母とは申せ、あなたのかけがえのないお父さんのお母さんですもの、又お母さんから言へば、命ともたのむ夫の妻、お母さんが亡くなつたらばこそ、あなたのお父さんのおよめとなられたではありません。よくこゝを考へますと、餘計にあなたを愛さねばならぬ筈です。さうしてあなたと一所に、亡き人の菩提を弔ふべき筈です。

きみ子さん、あなたのお母さんはきつといゝ立派な方なのでせうけれどもまだ心の中の愛が表に現はれて來ないのです。

△惡魔がじやまして

あなたのお母さんのほんとうのお心をふさいでゐるのです。だからこそはる〳〵とあなた方二人の忘れがたみが北海道さしてたづねてゆかれたのを、つらくあたつたのです。私はあなた方二人が早く母さまに會ひたい、お父さんにあひたいと手に手を引き合つてはる〳〵と北の國へ旅立ちなすつたその時の心があり〳〵とよめます。所があつてみると思つた樣な優しいお母さんでなかつた、お父さんさへつれなくあたる——あゝその時のあなた方の心はどんなだつたでせう。しみ〴〵と人の情けが戀しくなつたでせう。と同時に死なれたお母さんを思ひ出しなすつたでせう。三つの時でよく覺えてはゐられないが、そのお母さんを泣いて思ひ出した位、



ロンドンの名高いお寺　　(國府理事寄)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

今のお母さんがつれなかつたのでせう。ほんとうに〳〵お氣の毒でした。あなたが『どんな難義をしても働こう』と決心されたのも無理はありません。姉妹二人して袂をしぼりながら秋風に吹かれ〳〵て北海道から歸られてゆくあなた方の、その時の樣子が目に見えます。

きみ子さん、その時には天上のお母さんも袂を顏にあてゝお泣きなすつたでせう。あなた方が笑へばお母さんも笑ふ。あなた方が泣けばお母さんも泣くのです。然しお母さんは立派な方です、決して〳〵今のお母さんを怨めばしません。あなた方を守つてばかりゐられます。あなた方は仕合せです、ほんとうのお母さんが天の上で守つて下さるもの。

きみ子さん、決して〳〵今のお母さんを怨んではいけません。今に〳〵あなたにほんとうの愛を注ぎ心からあなたを理解して下さる時がきます、親子抱き合して泣く時が來ますよ。あなたのお父さんもきつと〳〵お心持が變ります。北海道に何してゐらつしやるか知りませんが、

△月の夕に花のあしたに

淋しいあなた方を思ひ出して、父さんが胸を一ぱいにする時が來ますとも。血を分けた父子の緣、どうして薄くなられませう。どうかきみさん、氣を大きく、廣く優しくもつて、神を信じ、人を愛し、正しい道に進んで下さい。

私もあなたの爲にたえず祈りませう。

敎へ草

叱るまじ我も昔は雪ころげ
柔らかな嫁菜姑のお齒に合ひ
朝起きは家をねかさぬ心がけ
堪忍は五兩短氣は相場なし
欲の衣ぬげば身輕な人心
　人に負けても己に克てば
渡る世間に鬼はなし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

修養の話

心は廣く

小林長吉

明治天皇御製

淺みどり澄みわたりたる大空の
ひろきをおのが心ともがな

我々はこの聖諭を體して心を廣く持たねばなりませぬ。道歌に「三度食ふ飯さへこわしやはらかし、思ふまゝにはならぬ世の中」と云ふがありますが、實に世に處し事に當りては意の如くならぬ事が多いのであります。由來人は先天的に素質を異にし後天的の境遇や教育や生活情態が千差萬別でありますから、從つて人心は所謂十人十色で、幾人の顔を見ても同じい顔の人のない如く、同じやうの心を持つ人もないのです。斯の如く人心が不同でありますから感じも考へも望みも喩りも區々であります。それ故孔子も「君子は義に喩り小人は利に喩る」と誨へられました。かやうに人心が相違して居るとすれば、人事上不如意が寧ろ當然と考へねばなりませぬ。而してその不如意に處して平靜なる心を持ち得る修養が大切であります。意の如くならねばとて怒つたり憤つたり恨んだり悶えたりした所で何になりませう。唯々自已の心の狹小なのと修養の足らないのとを表白すに過ぎませぬ。目的を定め手段を擇んで爲す事にすら思はぬ障礙が生じて蹉跌もし倒れもすることが有るものを増して複雜なる人事界に於ては尙更の事と覺悟せねばならぬのであります。

明治天皇は

開け行くみよに出ても心せよ
躓く石のある世なりけり

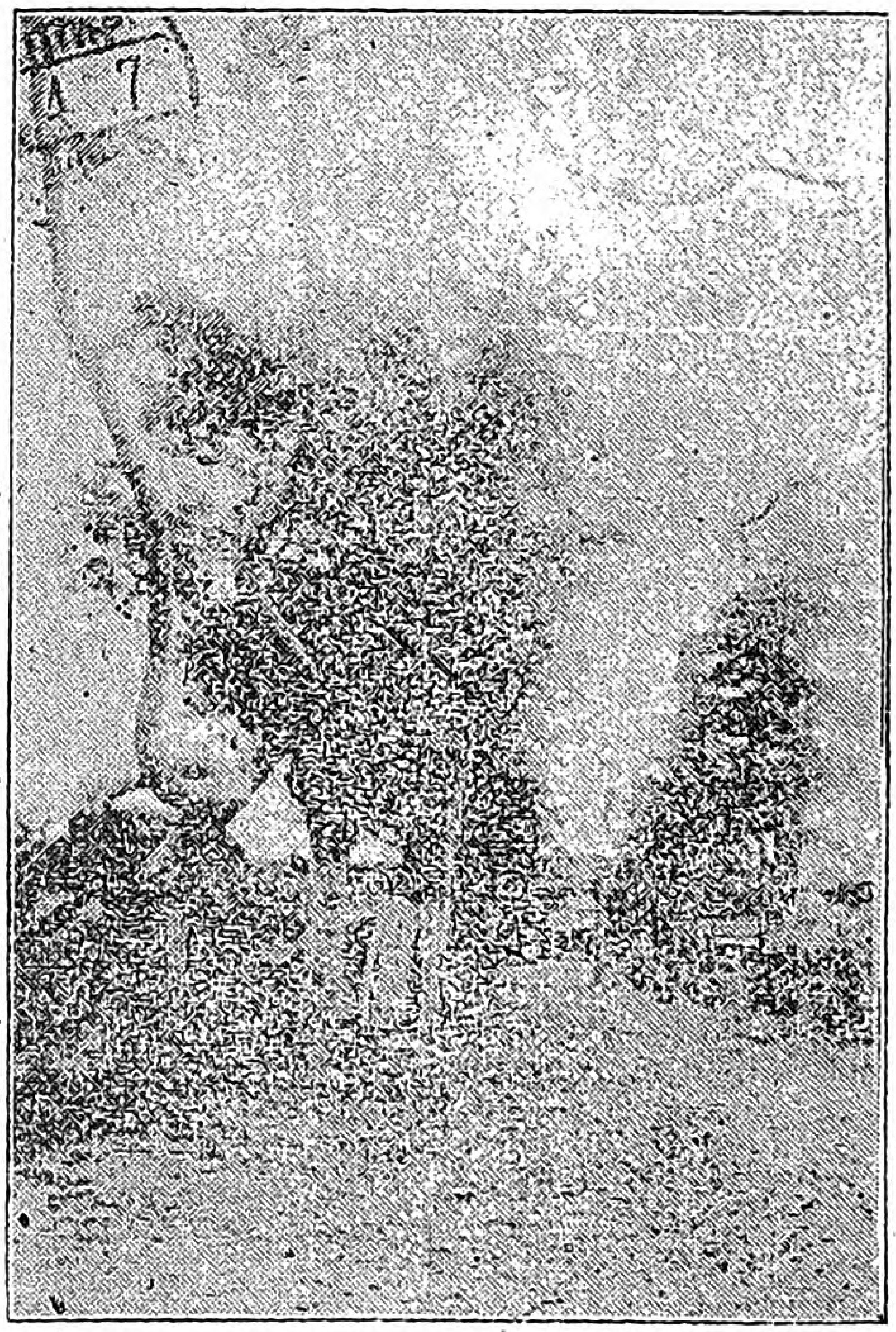
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

と敎へ給ひ又

思ふこと貫かん世をまつ程の
月日は長きものにぞありける

と諭させられましたは洵に畏き大御言と存じます。

人生は決して平坦砥の如きものではなく、波瀾あり曲折あるが常であります。時に或は前門に虎を防げば後門に狼逼るといふ様な場合に遭遇することもあります。その間に立つて能く出所進退を誤らず。得意の日にも驕らず失意の際にも屈せずして正道を踏んで怖るゝなきは修養ある人ならでは爲し能はざる所であります。西洋の諺にはローマは二日にして成らずといふがあり、支那の書物には「凡そ事の成るは成るの日に成るにあらずして必ず由つて來る所あり」といふ語がありますが、げに大建築には大なる基礎を要する如く大なる事業には大なる準備がなければなりませぬ。雲を凌ぐ大木には地下幾尺に深き廣き根抵あるを忘れてはなりませぬ。大成した人を見てはその少時の苦心勉勵の如何なる者ありしかを思はねばなりませぬ。四五千年の星霜に亘り、雨に風に晒されて尚當年の俤を存して正しく東西南北を示して居るエジプトの方尖塔はその基礎廣大なるが爲であります。而も其基礎を作るも尚且容易ではないのでありますから、增して其上に建設竣工するまでは決して短日月のよくする所でありませぬ。我々は廣い心を持て、怒らず怖れず撓まず屈せずして世に處し事に當り、以て意義ある一生を終る樣に心がけねばなりませぬ。


香川の垂水神社

香川岩井つや子寄

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

身體にわるいところのあるなやみ

□顔をみせない女

農商務省の歸りに、歌舞伎座前から新宿ゆきの電車に乘りました、すいてゐましたのでゆつくりと席をとつて新聞をよんでゐる中に、電車は全速力で走つてゆきます。ふと向ふの隅の方に小さくなつて立つてゐる女がございます。十八九にもなりませうか、つや〱とした髮に百合の花のかんざしを挿し、さつぱりとした着物に、菊水の模樣のある帶をしめ、何か風呂敷包みを抱へてゐます。品のいゝをとなしさうな娘さんですが何故か、隅の方に背を向けてチッと立つて居ります。

□アッ！お氣の毒

私はヂキに下りるのだらうと思つて居りますと電車が三宅坂についても、番町についても少しも下りません。ふり返つてもみません。それなら中が混んでゐるかと申しますと、腰かける所は澤山ございます。それで私は一寸變になりまして、どうしたのだらう妙な人だ、此處があいてゐますと言はうかとさへ思ひました。電車は四谷見附につきましたが、彼の娘さんは、チッと隅の方に立つて入つて來る人を見やうともせず、出る人に心を向けやうともせず、默つて立つてゐます。と、彼女は、風呂敷包を持ちかへて鬢のほつれ毛をかきあげました。その時に横顏が少し見えました、私は、アッさうか！と心で叫びました。

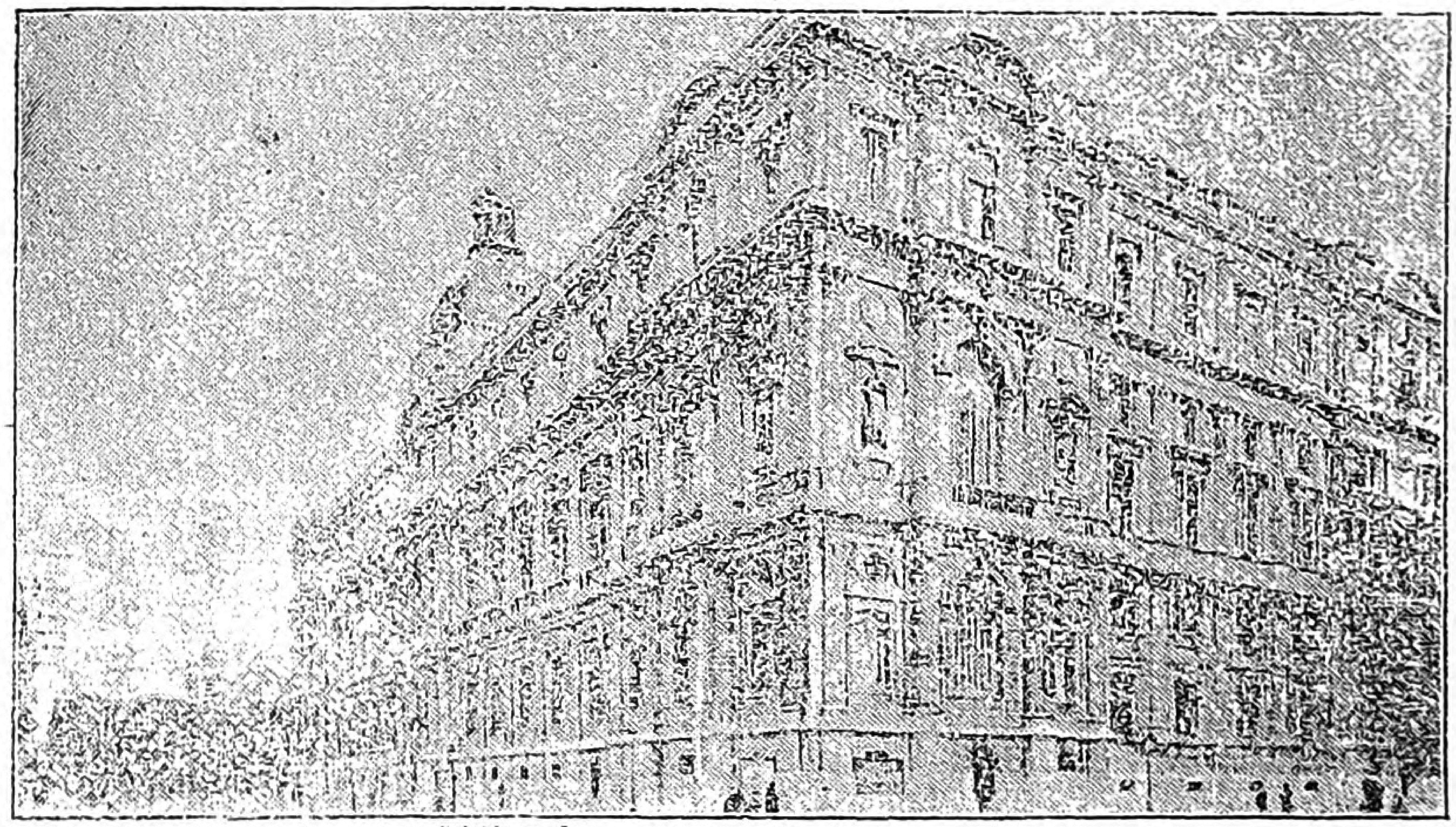
何んといふ氣の毒なことでせう、どうして、いつ出來たか知りませんが、顏に大きなビンがあるのです、火傷でもしたのでせう、頰から唇のあたりに、大きなビンがあるのです。それでこの娘さんは、後ろ向きになつて顏をかくし、席があるのにわざと立つてゐるのとわかりました。姿といひ樣子といひ、ほんとうに上

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

品な娘ですが、あの顔のきづはほんとうに玉にきづ、容貌より心と申しますが、美しいものは誰がみても美しい、女も美しい方が愛を受け易い多くの乙女がお化粧に夢中になるのもソリャ無理はない、きりやうは好き好き、瓜實形がいゝといふ人もあれば、圓顔がいゝといふ人もあります。白粉をぬれば白くもなります。けれど、怪我のあとや、傷のあるといふことは、ほんとうに一生なほらぬきづ、若い乙女にとつてどの位悲しい、いたましいことでせう。

□娘より親が

又二三日前電車に乗らうとしますと、三尺か四尺位しかない女が參ります、顔をみるともう三十近いの



國府理事寄

フランスのマルセーユ市の壯觀

です、よくいふ脊むしといふ身體です。私はしみ〴〵と病を呪ひました同じ女と生れ、人と生れてどうして神樣はこのやうな罪な病氣を與へて下すつたでせう、一生直らぬとすると、お嫁にもゆけますまい、婿も貰へますまい、本人は固より親の身になつてどんなに悲しいことでせう。顔は青白く、血の氣がありません。でも流石に女です。かんざしは赤くあでやかに、帶も光つてゐます、八ツ口はかきつばたのやうにきれいであります。あゝ親のなさけと乙女の血潮！さうです、若い乙女です、華やかな血も跳りませう。戀も感じませう。しかしなんとしてあの身體が直りませうか。

電車が來ました。大勢先きを爭つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て乗りますが、一人としてこの婦人に席を讓りません。さげすむやうな顏をして、見てゐる男もありました。然し流石に女は優しい、この氣の毒な同性の友に對してお氣の毒といふ樣子をしない人はないやうでした。

□滿足な身體の仕合せ

その翌くる朝麴町を通りますと、文房具店から女學生が出て來ましたが、右の足が利きません、靴を穿いてゐましたが、右の方の靴はブラ〳〵で利きません、それでもビッコひき〳〵巧みに步るきます。書物袋を抱へ、インキをさげてゐます、美しい海老茶袴に、長い袖の着物を着て居ります。袖裏の赤い色が初夏の日光にきら〳〵光つてみえます。

あゝ氣の毒な女學生よ、神樣よ、あの足はもとのやうに直らぬのでせうか、あの足が一生あの若い娘を暗い心持にするとはほんとうに氣の毒とも可愛相ともたとへやうがありません、でも人と生れた以上學ばねばならぬと每日學校へゆくいぢらしさ、私は彼女の後ろから步るいて居りましたが、つく〴〵我身の幸福を感じました。滿足な身體をいただいてさうして滿足に育て下すつたふた親と、世の中に感謝せずにゐられませんでした。働くと疲れます、時には遊んでゐたいと思ひます。然し働きたくとも、身體のわるい爲に働くことの出來ないといふ位悲しいことはありますまい

□心のお化粧が第一

皆樣は滿足な身體に生みをとされ、丈夫に何一つい

ふ所なく育ちました。これを先づ感謝しなさい、きりやうなんぞは二の次です、よい目鼻をもつて居れば姿はそのつぎです。お化粧は次の次です。

きりやうを氣にしてお化粧ばかりしてゐるやうな娘でも心の中が汚れて居つてはいけません。心が美しくて始めて姿も美しく、顏にも品が出て來ます。外ばかり飾つても內が汚くてはいけません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ついだ着物にわら草履で

香川縣三豐郡大の原村處女　石川もと子

(前略)私は本年二十五歳の處女でございます、父の手一つで十年の間育てられ、姉兄弟妹同一に生長致し貧しくとも情深き家庭に有益なる處女の友と共に樂しき月日を送り居候。又先生の年を取らぬお藥をいたゞき、事足れば足るにまかせて事足らず足らで事足る身こそ安けれを實行致し居候ては何一つ不足なく、野良に家事についだ着物にわら草りで樂しく母校へも行けば、おつかいにもゆき、處女會にも出席致し候。是處女の友と處女會、一つには父の敎訓とに外ならず候。私は尋常四年を卒業したばかり書方の作法を知らす失禮の段御ゆるし下さい敬白

(記者曰く)何んといふよいお心掛けでせう、お年は少女でもないやうですが、その純な正直なあどけない心もち、ほんとうに潔白です、あなたの純潔な心が見えるやうです。着物よ、帶よと浮いた乙女子の多い中に、あなたのやうな孝心深いまじめな處女のあることは、何んといふ心強いことでせう。あなたはよいお父さんをもたれた、お父さんは一層よい娘さんをもたれた。私はあなたに、純潔なよいお婿さんがきつと〱あらはれることゝを信じます。又私にあてゝいろ〱のこと、却つて恐縮に存じます。(あ)

□□□□□□

處女會をお世話下さる方

靜岡縣小笠郡朝比奈村　増田よれ子

増田様は朝比奈村の女子同窓會長で非常に村のことに力をつくされて居ます。皆様と御一所に増田様に御禮を申しませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

都にあこがれて（其九）

白雲生作

◎

お君の母親へあてた手紙を、お房はよみ返しつゝ封筒に入れまして、上書をしるし、切手を貼つて出しました、そんなことゝは神ならぬ身のお君は知りませんまだすや／＼とねむつてゐます。時々唇のあたりを動かして何かいひたげにみえます。

お房はこの手紙のついた時の、お君の郷里の様子をいろ／＼に想像してみました。そりやお君さんも惡るかつたでせう。然しあの手紙を見てきつと／＼お君さんをゆるして下さるでせう、そしてお父さんが迎ひに來て下さるでせう。きつと／＼迎ひに來て下さるでせうと、ひとり合點してゐました。

その夜お房は、お君の父親があはてゝ驅けつけて親子二人して泣き合つた夢をみました『をゝきつと／＼お君さんのお父さんは來なさる、うれしい』ともう自分一人できめてしまひました。

◎

『君ちやん何か食べないの？』

『…………』

『けふは氣分がいゝでせう』

『えゝ……』

とうなづきます。其處へ入つて來たのはお里さん、どこから貰つたのか、きれいな女郎花の一枝をもつて來て、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『あの一輪挿があつて？』
お房は空罎のカラに入れました。お君は力ない眼つきをして眺め入つて居ります。秋の日光を浴びて、女郎花はいかにも淋しげに見えます。
お里さんが歸つたあとでお房は
『君ちやんお父さんに會ひたいでせう』
お君は、默つてうなづきましたが、とても出來ない相談をいふお房を怨むやうな樣子も見えました。
『ぢや今お父さんがこゝへ來たらどうするの』
『あたしすぐ病氣も直つてよ、けれどソンなことどうしてあるものですか』
『もしあつたら』
『…………』
女郎花がほろ〳〵と散ります。
『お房さんわたしのお母さん怒つてゐるでせうね』
『いえ〳〵きつと〳〵もう君ちやんをゆるしてゐてよ、早く會ひたいつていつてゐますよ』
お君はにつこり笑つて
『わたしすまなかつた、けれどこれからどうなるでせうねえ』
『君ちやん、心配してはだめよ、私しお父さんが此方へ來るやうにするわ、きつと』
『ソンなこと、だつて……』
小鳥が頻りに鳴いてゐます。
『君ちやんけふはお醫者さんが來る日よ、コヽら少し片づけませうね』

◉

『おまつ、まあこの分ぢや、とり入れもけふ限りだ、えゝ都合だつた』
おまつと呼ばれた此家の細君は脚袢を外づしながら
『ほんとうにね』
といつた。
『お父さん、此處を掃くのかい』
十位の吉坊が箒をもつて來て庭の柿の木の下に立つてゐます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『ウムやつてくれるかな』

『ヤレ〳〵草臥れた、どつこいしよ』

椽に腰をかけて一服プカ〳〵やつてゐます。所へ郵便屋さんが來て、郵便！と一聲のこして渡していつたのがお房からの手紙であつた。

父親は默つて手にとつて裏をみると『お君さんのお友達の房子より』としてあるので、

『をゝ母さん、お君からたよりが來たせ』

臺所の方へ廻つて居つたお袋は前かけで手をふきあはてゝ馳けて來ました、吉坊は『姉さんから？どうどう』もうそれからこの一本の手紙に、家中の顔が集りました。

父親が讀むのをみんな聞いて居りましたが『お母さんお母さんごめんなさい〳〵と申します、わたしは毎晩泣きます』といふ所へゆくと、お袋がもう泣き出します、老父もほと〳〵と涙を流し

『やれ〳〵可愛相な、それにしても深切なお房さんとやら、どこのどういふ娘つ子か知らないが、勿體ないことだ……あゝおまつなんと可愛相ぢやないか、……』

生さぬ仲とはいへ、こうしてたよりない遠方へいつて病んでゐる、しかも母にすまぬ〳〵といふて後悔してゐる娘の樣子をみると、流石に女親です、どうしてにくいと思ひませうか、先刻から前かけで涙をふいてゐます。

『母ちやん姉さんがあんばいがわるくて寢てゐるの、……』

『母さん姉さんに會ひたい』

腹ちがひとは言へ、こうして姉を思ふ我が子の心を目のあたりみても、母親の心は蘇らずには居られません。家出した時は、にくいと思つたが、今となれば可愛相だ、わしも惡るかつたと母親の涙にも深い心がありました。

＊　＊　＊　＊　＊

その翌くる朝夜明けに、古い中折帽を冠つて風呂敷包を抱へた五十恰好の老人があはてゝ〇〇停車場へと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

向つて旅立ちました。其がお君の父親でした。もう近所でもこのことを誰一人知らぬものはなく、喜びに來るやら、仔細を聞きに來るやらで、その日は一日人の出入りがしげくなりました。

◉

『やあごめん、〳〵』
と呼んだが誰も出て來ない。
『もし〳〵ごめん下さい』
誰か來た氣配に、同情園の奥さんが玄關へ出てみますと、見なれぬ老人がソハ〳〵として立つてゐます。
『どなた』
奥さんが聞くが早いか
『へーい、わたしはお君の父親ですが、お宅にお君が御厄介になつてゐやすさうでして……へいへーい』
『あゝさうでございますか、よくまあ……』
『ハイ〳〵左樣でございますか、どれ〳〵どこに居りやすかい』
下駄を脱いで上にあがり帽子冠つたまゝあちこちしてゐます。
『ではどうぞこちらへ』
『ハイハイどうも〳〵』
お房は、其ときくが早いか、お君に
『君ちやん、お父さんが來てよ』
とふとんを抑へて、耳に口をあて、
『あらほんと？房ちやん』
『ソラ、ウソでせう……』
といふ時、
『ハ……左樣でござりましたか、ソレは〳〵永いこと御厄介で……』
途端お君と父親の視線がピッタリ合ひました、
『をゝお君！』
『をゝお父さん！』
つか〳〵とお君の側へすり寄つて
『お君、來たぞ、ウム瘦せたな』
『お父さんごめんなさい〳〵わたしすまないわ』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふとんを冠つたま丶泣きくづれます。
お房も思はず貰ひ泣きしました。奥様も眼鏡を外づして眼をふいて居られます。
お里も來まして泣きました。
流石に父です、にくい筈がない、反對にお君を慰めながらつもる話しをしてゐましたが、
『お父さん、こ丶にゐるのがお房さんで、わたしどの位お世話になつたかしれないわ、お禮いつてちようだい』
言はれて父親あらたまり
『を丶あんたがお房さん、ようこの手紙をよこして下さつたと懐へ手を入れるまねします、(手紙が懐から顏を出してゐます)を丶さうですか、娘がこんどはエライお世話になりましてな、ほんとうに勿體ないでやす、實はあのお前さんのお手紙が來ました時には、私は夢にとばかり思ひしばらくはぼんやりしてゐやしたほんとうによくこうしてお世話して下さいました、けふも汽車中お前さんのお手紙を出してはよんで、わたしは、顏をふいてゐやした、ご深切なことでございます、いろ／＼是にはわけもありませうがほんとうに忝けなうございます』
『いえいえお父さんお禮どころか、私こそお世話になりましたの、お話しを致しますと、長くなりますが不思議の御縁でお君さんといつも一緒になりましてね、隨分苦勞も致しましたが、ほんとうにようございました』
『えらい是はおはづかしいが、みなさんあがつて下さいませ』
『およしなされぱようございますに』
秋の日の暮れ易く、もう電燈がつきました。
お房とお里はごはんをたべにゆきました。奥さんも事務所の方へ歸られました。親子水入らずとなりますと、
『お父さん、でもお母さんにすまないわ』
『なんの／＼、もうお君が／＼つてエラク案じてゐるだよ、それにな、あの吉坊やおゆきがお前がゐない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

〳〵といつて泣くのでな……』

お君は心から安心したらしく、いろ〳〵うちとけて父親に物語りました。父子二人の添寝のその夜の夢はどこをどうめぐつたことでせう。

＊　＊　＊　＊

それから二三日經つと、もうずん〳〵お君の病氣はよくなり、もう床も片づけて、ピン〳〵し出しました。父親も大喜びで、そは〳〵してゐます。都あこがれの迷夢から蘇つたお君が、慈愛の父親に伴はれて、生し故郷に歸つたのは、その翌くる日でした。お房は門まで送つていきましたが、流石に姉よ妹よと誓つた仲、またも別れに袂を絞るのでした。

『お房さんではこれで……』

『……』

『お房さん、どうもいろ〳〵へいもうどうぞ』

お房は胸が一ぱいになつて、何んとも挨拶が出來ませんでした。只默つてお君の手をにぎり、

『君ちやんわたし羨ましいわ』

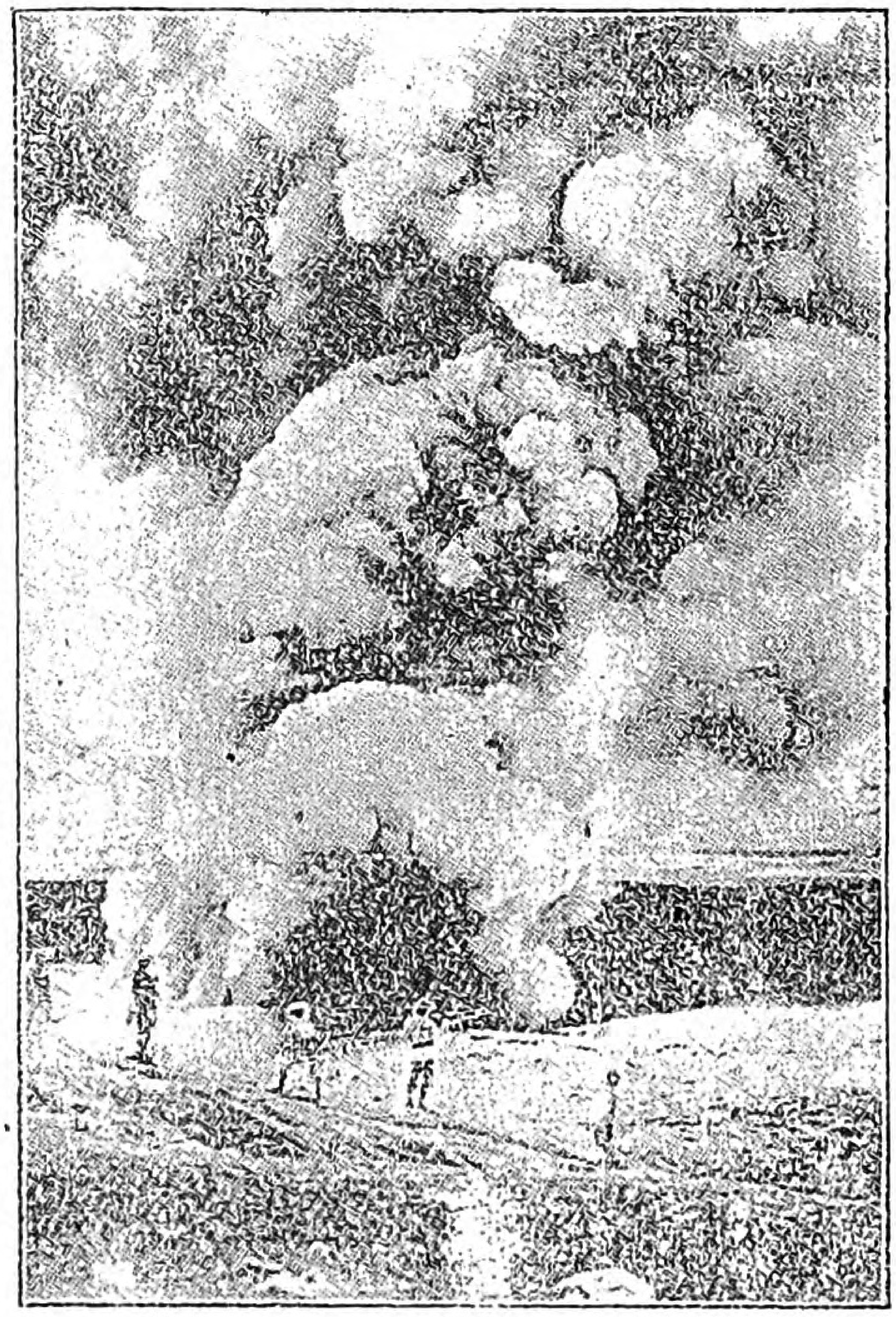
こんどはお君が泣き出しました。

『さあお君、泣くでないぞ〳〵』

門前の楓の朽葉がハラ〳〵と散ります。

阿蘇山の噴火

熊本縣阿蘇郡　齋藤ひさ子寄



ひさ子さんから澤山名勝のゑはがきを送つていたゞきました、是はその一つです。尙未も送つて下さいました。御禮を申し上げます皆様面白いゑはがきを御送り下さい、ゐながら日本全國を見物しませう（記者きみ子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

都に憧れて家出する人

＝本年の三月だけで三百九十名＝年齢は十八歳から二十一歳迄多く是れは男子の兵役關係が頗る原因してゐる＝

花の帝都に憧憬れ質朴な床しい地方色を拗ねて向不見に家を飛出して上京する者、家庭の不和や失戀の結果から無鐵砲な家出を決行して都を後に知らぬ旅路に赴く者が毎年此花時から夏季へ懸けて續出する今是れを警視廳の統計課高久警部に就て調べて見ると『昨年中市内各警察署に屆出た件數は六千四百九名に達してゐる内男が四千二百四十五名女が二千百六十四名で年齡は十八歳から二十一歳迄が最も多く是れは男子の兵役關係が大いに與つてゐるそして最も多い月は七八の兩月で昨年は此二ヶ月に一千三百三十二人を計上されてゐる次が花見時で昨年三月が男三百三十一名女百四十四名之を本年同月の男二百六十名女百三十名に比較すると意外な減少を示してゐる其れに最も尠いといふ正月が昨年は二百三名本年は百六十八名で是れも異常な減り方で誠に好い現象ではあるが果して之は如何いふ結果だらうか、突飛な空想を夢みて上京する若い女や男も東京が其程に好い處ではないといふことが茲一ヶ年許りの新聞や雜誌に依つて漸く自覺を與へられ都の者も急速に目覺めた結果に外ならない兎に角喜ばしい次第である』云々と(毎夕新聞より)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

代理部取扱品

宇野彌太郎著
西洋料理法大全
洋裝菊版 全一册
第三版
定價金四圓貳拾錢 郵稅金廿四錢

赤堀峯吉著
家庭實用 **西洋料理法**
洋裝三六判 函入全一册
再版
定價金貳圓 郵稅金十二錢

大森阿仁子、川島芳子共著
西洋料理（附作法と心得）
洋裝菊版 全一册
新版
定價金貳圓 郵稅金十二錢

宇野彌太郎、渡邊鎌吉共著
家庭 **西洋料理法**
洋裝菊版 全一册
第七版
定價金貳圓 郵稅金十二錢

梅田矯菓著
家庭 **和洋菓子製法**
洋裝三六判 全一册
再版
定價金壹圓七拾錢 郵稅金八錢

梅田矯菓著
實驗和洋 **菓子製造法**
洋裝三六判 全一册
第十三版
定價金壹圓七拾錢 郵稅金十二錢

東京市麹町區元園町壹の四七 **處女會**中央部**東京代理部** 振替口座東京五一六〇〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へなさい○

内容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田猿樂町三

本月號出來

内務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價六十錢 送料六錢

好評嘖々既に十一版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奨む

東京市本郷元町 丙辰出版部

振替東京三三三〇〇番

代理部取扱品

徳用洗濯石鹸

定價 (大)金四十錢 (小)金參十錢 送料拾二錢

◎此の徳用石鹸はこれまでの洗濯用石鹸の樣な黄色やら褐色でなく純白であります又今迄の洗濯石鹸の樣に耶脂又は魚油なごを原料として造つたものと違ひまして高等の香料が調合してありますから洗濯の後で惡い香は全く殘りませんで誠によい香ひがいたします又泡立ちのよい事洗濯して美麗に汚れがおちる事は不思議な位であります

實用化粧石鹸

定價 價貳拾五錢也 送料 八錢也

◎此の實用化粧石鹸は名稱の如く不經濟な包紙などの飾りは除いてありますから至つて安價に全く實用經濟向に出來て云ますそして品質は市場に出て居ますものよりも優等の原料を以て製してありまして不純物が少しもなく然かも衛生的に皮膚を美しくし泡立ちの宜いのと減り方の遲いとが本品の特色であります是非一度御試し下さい

東京市麹町區元園町一の四七 處女會中央部東京代理店 振替口座東京五一六〇〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

野の處女に捧ぐ

＝處女會の歌『野の幸』の序詞＝

野の處女よ、鍬をおき首をあげて仰ぎたまへ。あの碧い廣い澄んだ大空を、チツと眺めてゐると心まで映りさうなあの大空を。野の處女よ、首をめぐらして野を顧みたまへ。こんもりとしたあの鎭守の森を、若草の萠えたあの青い丘を、銀の蛇のやうな小川を、それから小鳥のさゝやきを。野の處女よ、首をたれて脚もとをみたまへ。黑いひとかたまりの土の中にも、神秘の生命がこもつて、もろ〳〵の小草が大地の惠に萠えてゐるその脚もとを。

あゝ美しき自然よ、天然よ。春から家に、冬に、野の幸のみちみてる田園よ。その自由の天地に、健康の園生に、愛の女神の恩寵に浴してはたらく野の處女等よ、感謝と感恩の心もて、女神のさゝやきたまひしごとく、強く優しくまじめに働く、よき處女となりたまへ。

わたくしは、春の廣野から、夏の木かげから、秋の田の面から、冬は團欒の爐邊から、この『野の幸』が淸らかな野の處女たちに依つて、強く優しく高らかに歌はれることを祈ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部二週年の會

＝五月五日丸の内中央亭に於て＝

大正七年四月發會しました處女會中央部は、二週紀念を兼ねて第一回評議員會を開きました。今日まで評議員を御快諾下すつた方は九十餘名でございまして、皆朝野の名士婦人でございます。是等の方々が中央部の目的及事業を御援助下さるやうになりましたことは、中央部の名譽なるのみならず處女會婦人會にとつて誠に仕合せなことでございます。

評議員（順序不同）

侯爵	徳川頼倫
樞密顧問官 法學博士	一木喜徳郎
宮中顧問官	北條時敬
文部次官	南弘
東京女子高等師範學校長	湯原元一
内務省地方局長	添田敬一郎
東京女子大學々監	安井てつ子
救世軍大佐	山室軍平
鐵道院理事	長尾半平
陸軍中將	堀内文次郎
女子技藝學校長	大妻コタカ
内務省囑託	村田宇一郎
東京女子高等師範教授	下田次郎
成女女學校長	宮田修
女醫	竹内茂代
東洋大學教授	高島平三郎
東京女子高等師範教授	大江すみ子
貴族院議員	山脇玄
東京府内務部長	岩田衛
日本女子大學校長	麻生正藏

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

法學博士　岡實
內務省社會課長　田子一民
府立第一高等女學校長　市川源三
內務省衞生局長　潮惠之輔
農商務省農務局長　道家齊
日本女子大學敎授　井上秀子
農學博士　橫井時敬
貴族院議員　田所美治
內務省事務官　川西實三
文部省普通學務局長　赤司鷹一郎
女子學院學監　三谷民子
文部省督學官　棚橋源太郎
貴族院議員　澤柳政太郎
家庭學校長　留岡幸助
文部省參事官　下村壽一
東洋家政女學校長　岸邊福雄
河野鑛油製造所長　高野重三
內務省囑託　生江孝之
文部省事務官　原胤昭
　乘杉嘉壽
內務省囑託　田中孝子
常磐松女學校長　牧野虎次
東京女子高等師範敎授　三角錫子
同　藤井利譽
　甫守ふみ子
東京府主事　穗積まつ子
富士瓦斯紡績小山工場長　吉田幹
同　押上工場長　朝倉每人
同　庶務主任　佐々山寬一
同　程ヶ谷工場長　辛島寬太
同　小名木川工場長　遠藤宗六
同　庶務主任　磯部直
內務書記官　平野義直
文部省事務官　田澤義鋪
農商務省鑛業監督官　上原種美
　石原修

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

醫學博士	永井潜
國民新聞社長	德富猪一郎
農學博士	澤村眞
	岩谷小波
	天野雉彦
	高島米峯
遞信省爲替貯金局長	天岡直嘉
實業之日本社長	増田義一
	小池てる子
	淺野ふみ子
法學博士	穗積重遠
農商務省書記官	副島千八
警視廳監察官	池田清
	田中芳子
警視廳工場監督官	鈴木孔三
青年團中央部理事	伊達源一郎
農商務省畜産課長	月田藤三郎
東京府視學官	小栗一雄
警視廳工場課長	廣瀨久忠
東京市社會局長	窪田文三
同　總務課長	田中太郎
內務省囑託	加藤咄堂
同	井上良三
三井銀行理事	早川千吉郎
	西島富壽
文部省囑託	久留島武彦
東亞絹絲巣鴨第一工場長	鵜野直
同　事務長	箕輪晴一

大森皇后宮大夫の臨席

五日の評議員會は、總選擧前の何彼と忙しい時であるばかりでなく、五月雨のふりしきるいやな日でしたが、北條、堀內、南、添田、天岡、道家評議員を始めとして四十名の御來會を得ました。この日特に皇后宮太夫大森男爵閣下が御見えになり始終會の樣子をごらん下すつたことは一同の光榮とする所でございました。

理事山脇房子氏が開會の辭を述べ、次で天野理事は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部發會以來二年間に『處女の友』發行、地方講演、工場講演、處女會則の設定、處女會歌の設定、見學婦人團の案内、身上相談の開始等。(別項參照) 其他つき御話し致しました。

其から座長を北條時敬氏にお願ひ致しまして、理事の改選、會長副會長の推薦、大正九年度事業の豫算其他を協議致しました。それ〳〵委員を設けまして、適當の方々を推薦致すことになりました。委員が推薦せられた新理事は左の十六名でございます。

新理事（順序不同）

山脇　房子	嘉悦　孝子	吉岡　彌生
井上　秀子	甫守ふみ子	大江すみ子
三角　錫子	跡見　李子	三輪田元道
宮田　修	國府　種德	田所　楠猪
下村　壽一	福島　四郎	高野　重三
天野　藤男		

其から食堂を開きまして、歡談しつゝ晩餐の卓につきました。吉岡女史が主催者を代表して挨拶を致しましたあとで、大森男爵は起つて、處女會中央部の趣旨も事業も大變よいことであると、お褒め下さいました。次で添田内務省地方局長も一場のお話しをせられました。

其から別室で會長のことや經濟のことなどいろ〳〵評議を致しまして、散會致しましたのは、十時すぎでございました。會長副會長にどなたがおきまりか、其は次號に御披露致しませう。

處女會中央部發會以來經過

一『處女の友』の刊行

大正七年十一月以來全國婦女團體擁護連絡機關として『處女の友』を月刊し主要なる地方に頒布して目下一萬以上の誌友を有す。

二、處女會設置宣傳

圖書に新聞に雜誌に講演に處女會未設の地方に創設を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふとんを冠つたまゝ泣きくづれます。
お房も思はず貰ひ泣きしました。奥様も眼鏡を外づして眼をふいて居られます。
お里も來まして泣きました。
流石に父です、にくい筈がない、反對にお君を慰めながらつもる話しをしてゐましたが、
『お父さん、こゝにゐるのがお房さんで、わたしどの位お世話になつたかしれないわ、お禮いつてちようだい』
言はれて父親あらたまり
『をゝあんたがお房さん、ようこの手紙をよこして下さつたと懐へ手を入れるまねします、(手紙が懐から顔を出してゐます)をゝさうですか、娘がこんごはエライお世話になりましてな、ほんとうに勿體ないでやす、實はあのお前さんのお手紙が來ました時には、私は夢にとばかり思ひしばらくはぼんやりしてゐやしたほんとうによくこうしてお世話して下さいました、けふも汽車中お前さんのお手紙を出してはよんで、わたしは、顔をふいてゐやした、ご深切なことでございます、いろ〳〵是にはわけもありませうがほんとうに忝けなうございます』
『いえいえお父さんお禮どころか、私こそお世話になりましたの、お話しを致しますと、長くなりますが不思議の御縁でお君さんといつも一緒になりましてね、隨分苦勞も致しましたが、ほんとうにようございました』
『えらい是はおはづかしいが、みなさんあがつて下さいませ』
『およしなさればようございますに』
秋の日の暮れ易く、もう電燈がつきました。
お房とお里はごはんをたべにゆきました。奥さんも事務所の方へ歸られました。親子水入らずとなりますと、
『お父さん、でもお母さんにすまないわ』
『なんの〳〵、もうお君が〳〵つてエラク案じてゐるだよ、それにな、あの吉坊やおゆきがお前がゐない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

〳〵といつて泣くのでな……』

お君は心から安心したらしく、いろ〳〵うちとけて父親に物語りました。父子二人の添寢のその夜の夢はどこをどうめぐつたことでせう。

＊　＊　＊　＊

それから二三日經つと、もうずん〳〵お君の病氣はよくなり、もう床も片づけて、ピン〳〵し出しました。父親も大喜びで、そは〳〵してゐます。都あこがれの迷夢から蘇つたお君が、慈愛の父親に伴はれて、生れ故郷に歸つたのは、その翌くる日でした。お房は門まで送つていきましたが、流石に姉よ妹よと誓つた仲、またも別れに袂を絞るのでした。

『お房さんではこれで……』

『……………』

『お房さん、どうもいろ〳〵へいもうごうぞ』

お房は胸が一ぱいになつて、何んとも挨拶が出來ませんでした。只默つてお君の手をにぎり、

『君ちやんわたし羨ましいわ』

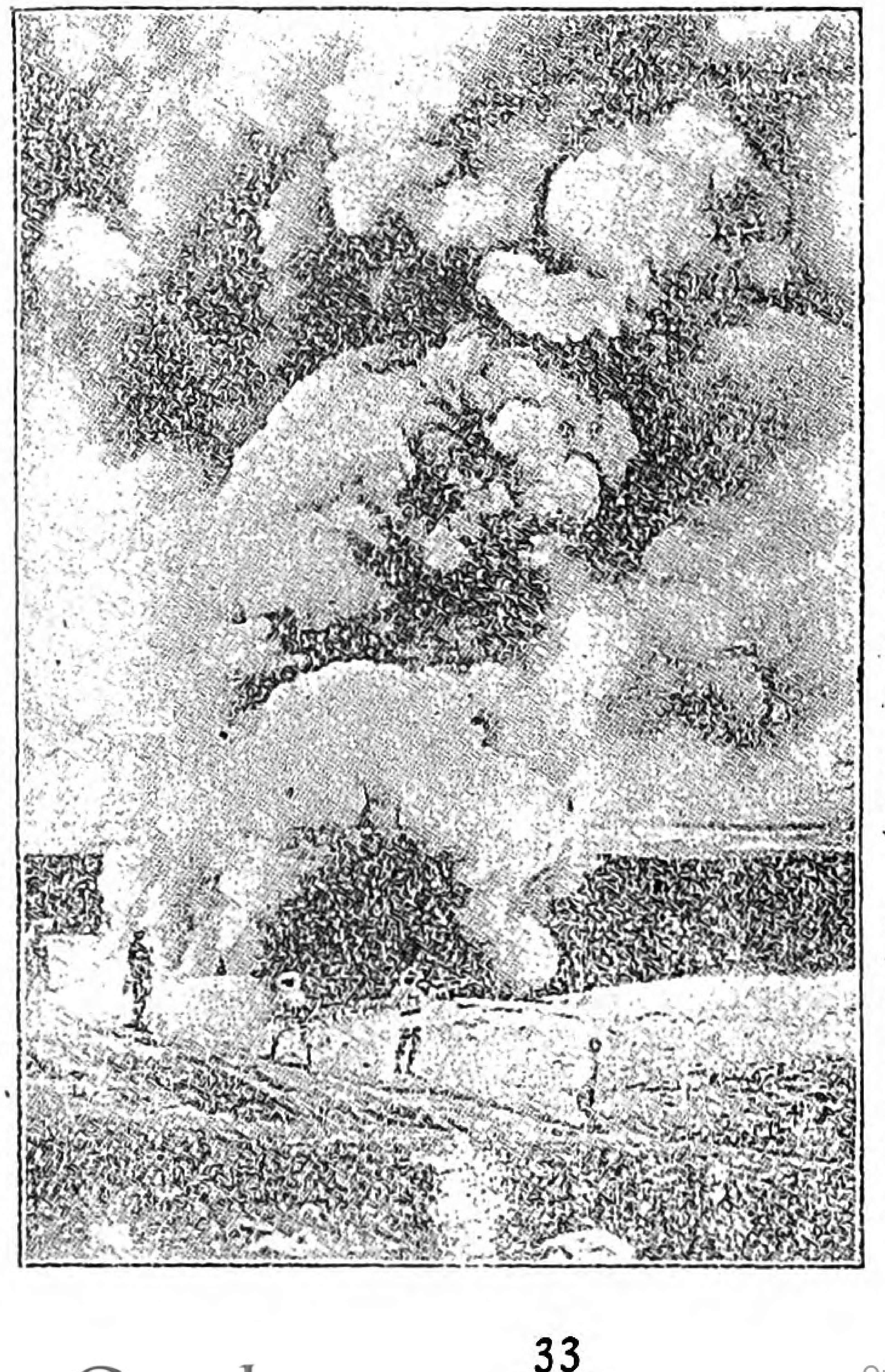
こんどはお君が泣き出しました。

『さあお君、泣くでないぞ〳〵』

門前の楓の朽葉がハラ〳〵と散ります。

阿蘇山の噴火

熊本縣阿蘇郡　齋藤ひさ子寄



ひさ子さんから澤山名勝のゑはがきを送つていたゞきました、是はその一つです。尚栞も送つて下さいました。御禮を申し上げます皆樣面白いゑはがきを御送り下さい、ゐながら日本全國を見物しませう（記者きみ子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

都に憧れて家出する人

＝本年の三月だけで三百九十名＝年齢は十八歳から二十一歳迄多く是れは男子の兵役關係が頗る原因してゐる＝

花の帝都に憧憬れ質朴な床しい地方色を擲ねて向不見に家を飛出して上京する者、家庭の不和や失戀の結果から無鐵砲な家出を決行して都を後に知らぬ旅路に赴く者が毎年此花時から夏季へ懸けて續出する今是れを警視廳の統計課高久警部に就て調べて見ると『昨年中市内各警察署に屆出た件數は六千四百九名に達してゐる内男が四千二百四十五名女が二千百六十四名で年齢は十八歳から二十一歳迄が最も多く是れは男子の兵役關係が大いに與つてゐるそして最も多い月は七八の兩月で昨年は此二ヶ月に一千三百三十二人を計上されてゐる次が花見時で昨年三月が男三百三十一名女百四十四名之を本年同月の男二百六十名女百三十名に比較すると意外な減少を示してゐる其れに最も尠いといふ正月が昨年は二百三名本年は百六十八名で是れも異常な減り方で誠に好い現象ではあるが果して之は如何いふ結果だらうか、突飛な空想を夢みて上京する若い女や男も東京が其程に好い處ではないといふことが茲一ヶ年許りの新聞や雜誌に依つて漸く自覺を與へられ都の者も急速に目覺めた結果に外ならない兎に角喜ばしい次第である』云々と(毎夕新聞より)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

代理部取扱品

宇野彌太郎著
西洋料理法大全
洋裝菊版 全一册
第三版
定價金四圓貳拾錢 郵稅金廿四錢

赤堀峯吉著
家庭實用 **西洋料理法**
洋裝三六判 函入全一册
再版
定價金貳圓 郵稅金十二錢

大森阿仁子、川島芳子共著
西洋料理（附作法と心得）
洋裝菊版 全一册
新版
定價金貳圓 郵稅金十二錢

宇野彌太郎、渡邊鎌吉共著
家庭 **西洋料理法**
洋裝菊版 全一册
第七版
定價金貳圓 郵稅金十二錢

梅田矯菓著
家庭 **和洋菓子製法**
洋裝三六判 全一册
再版
定價金壹圓七拾錢 郵稅金八錢

梅田矯菓著
實驗和洋 **菓子製造法**
洋裝三六判 全一册
第十三版
定價金壹圓七拾錢 郵稅金十二錢

東京市麴町區元園町壹の四七 處女會中央部 **東京代理部** 振替口座東京五一六〇〇番

内容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人斯華會 東京神田猿樂町三

本月號出來

內務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價六十錢
送料六錢

好評嘖々既に十一版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町

丙辰出版部

振替東京三三三〇〇番

代理部取扱品

徳用洗濯石鹼

定價（大）金四十錢（小）金參十錢 送料拾二錢

◎此の徳用石鹼はこれまでの洗濯用石鹼の樣な黃色やら褪色でなく純白であります又今迄の洗濯石鹼の樣に耶脂又は魚油などを原料として造つたものと違ひまして高等の香料が調合してありますから洗濯の後で惡い香は全く殘りませんで誠によい香ひがいたします又泡立ちのよい事洗濯して美麗に汚れがおちる事は不思議な位であります

實用化粧石鹼

定價 價貳拾五錢也 送料 八錢也

◎此の實用化粧石鹼は名稱の如く不經濟な包紙などの飾りは除いてありますから至つて安價に全く實用經濟向に出來て云ますそして品質は市場に出て居ますものよりも優等の原料を以て製してありまして不純物が少しもなく然かも衛生的に皮膚を美しくし泡立ちの宜いのと減り方の遲いとか本品の特色でありますす是非一度御試し下さい

東京市麴町區元園町一ノ四の七 處女會中央部東京代理店 振替口座東京五一六〇〇番

野の處女に捧ぐ

＝處女會の歌『野の幸』の序詞＝

野の處女よ、鍬をおき首をあげて仰ぎたまへ。あの碧い廣い澄んだ大空を、ヂツと眺めてゐると心まで映りさうなあの大空を。野の處女よ、首をめぐらして野を顧みたまへ。こんもりとしたあの鎭守の森を、若草の萠えたあの青い丘を、銀の蛇のやうな小川を、それから小鳥のさゝやきを。野の處女よ、首をたれて脚もとをみたまへ。黒いひとかたまりの土の中にも、神秘の生命がこもつて、もろ〳〵の小草が大地の惠に萠えてゐるその脚もとを。

あゝ美しき自然よ、天然よ。春から家に、冬に、野の幸のみちみてる田園よ。その自由の天地に、健康の園生に、愛の女神の恩寵に浴してはたらく野の處女等よ、感謝と感恩の心もて、女神のさゝやきたまひしごとく、強く優しくまじめに働く、よき處女となりたまへ。

わたくしは、春の廣野から、夏の木かげから、秋の田の面から、冬は團欒の爐邊から、この『野の幸』が淸らかな野の處女たちに依つて、強く優しく高らかに歌はれることを祈ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部二週年の會

＝五月五日丸の內中央亭に於て＝

大正七年四月發會しました處女會中央部は、二週紀念を兼ねて第一回評議員會を開きました。今日まで評議員を御快諾下すつた方は九十餘名でございまして、皆朝野の名士婦人でございます。是等の方々が中央部の目的及事業を御援助下さるやうになりましたことは、中央部の名譽なるのみならず處女會婦人會にとつて誠に仕合せなことでございます。

評議員（順序不同）

侯爵	德川賴倫
樞密顧問官　法學博士	一木喜德郎
宮中顧問官	北條時敬
文部次官	南弘
東京女子高等師範學校長	湯原元一
內務省地方局長	添田敬一郎
東京女子大學々監	安井てつ子
救世軍大佐	山室軍平
鐵道院理事	長尾半平
陸軍中將	堀內文次郎
女子技藝學校長	大妻コタカ
內務省囑託	村田宇一郎
東京女子高等師範敎授	下田次郎
成女女學校長	宮田修
女醫	竹內茂代
東洋大學敎授	高島平三郎
東京女子高等師範敎授	大江すみ子
貴族院議員	山脇玄
東京府內務部長	岩田衛
日本女子大學校長	麻生正藏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

法學博士　岡　實
內務省社會課長　田子一民
府立第一高等女學校長　市川源三
內務省衞生局長　潮　惠之輔
農商務省農務局長　道家　齊
日本女子大學敎授　井上秀子
農學博士　横井時敬
貴族院議員　田所美治
內務省事務官　川西實三
文部省普通學務局長　赤司鷹一郎
女子學院學監　三谷民子
文部省督學官　棚橋源太郎
貴族院議員　澤柳政太郎
家庭學校長　留岡幸助
文部省參事官　下村壽一
東洋家政女學校長　岸邊福雄
河野鑛油製造所長　高野重三
內務省囑託　生江孝之

原　胤昭
文部省事務官　乘杉嘉壽
田中孝子
內務省囑託　牧野虎次
常磐松女學校長　三角錫子
東京女子高等師範敎授　藤井利譽
同　甫守ふみ子
穗積まつ子
東京府主事　吉田　幹
富士瓦斯紡績小山工場長　朝倉毎人
同　押上工場長　佐々山寛一
同　庶務主任　辛島寛太
同　程ヶ谷工場長　遠藤宗六
同　小名木川工場長　磯部　直
同　庶務主任　平野義直
內務書記官　田澤義鋪
文部省事務官　上原種美
農商務省鑛業監督官　石原　修

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

醫學博士　永井潜
國民新聞社長　德富猪一郎
農學博士　澤村眞
岩谷小波
天野雄彦
高島米峯
遞信省爲替貯金局長　天岡直嘉
實業之日本社長　増田義一
小池てる子
淺野ふみ子
法學博士　穗積重遠
農商務省書記官　副島千八
警視廳監察官　池田清
田中芳子
警視廳工場監督官　鈴木孔三
青年團中央部理事　伊達源一郎
農商務省畜產課長　月田藤三郎
東京府視學官　小栗一雄
警視廳工場課長　廣瀬久忠
東京市社會局長　窪田文三
同　總務課長　田中太郎
內務省囑託　加藤咄堂
同　井上良三
三井銀行理事　早川千吉郎
西島富壽
文部省囑託　久留島武彦
東亞綿絲巣鴨第一工場長　鵜野直
同　事務長　箕輪晴一

大森皇后宮大夫の臨席

五日の評議員會は、總選擧前の何彼と忙しい時であるばかりでなく、五月雨のふりしきるいやな日でしたが、北條、堀內、南、添田、天岡、道家評議員を始めとして四十名の御來會を得ました。この日特に皇后宮太夫大森男爵閣下が御見えになり始終會の樣子をごらん下すつたことは一同の光榮とする所でございました。理事山脇房子氏が開會の辭を述べ、次で天野理事は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部發會以來二年間に『處女の友』發行、地方講演、工場講演、處女會則の設定、處女會歌の設定、見學婦人團の案內、身上相談の開始等。(別項參照) 其他つき御話し致しました。

其から座長を北條時敬氏にお願ひ致しまして、理事の改選、會長副會長の推薦、大正九年度事業の豫算其他を協議致しました。それ〳〵委員を設けまして、適當の方々を推薦致すことになりました。委員が推薦せられた新理事は左の十六名でございます。

新理事（順序不同）

山脇　房子	嘉悦　孝子	吉岡　彌生
井上　秀子	甫守ふみ子	大江すみ子
三角　錫子	跡見　李子	三輪田元道
宮田　修	國府　種德	田所　楠猪
下村　壽一	福島　四郎	高野　重三
天野　藤男		

其から食堂を開きまして、歡談しつゝ晩餐の卓につきました。吉岡女史が主催者を代表して挨拶を致しましたあとで、大森男爵は起つて、處女會中央部の趣旨も事業も大變よいことであると、お褒め下さいました。次で添田內務省地方局長も一場のお話しをせられました。

其から別室で會長のことや經濟のことなどいろ〳〵評議を致しまして、散會致しましたのは、十時すぎでございました。會長副會長にどなたがおきまりか、其は次號に御披露致しませう。

處女會中央部發會以來經過

一『處女の友』の刊行

大正七年十一月以來全國婦女團體擁護連絡機關として『處女の友』を月刊し主要なる地方に頒布して目下一萬以上の誌友を有す。

二、處女會設置宣傳

圖書に新聞に雜誌に講演に處女會未設の地方に創設を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

宣傳し、地方婦女團體の設立を援助せり。

三、婦女團體臺帳の編纂

全國郡市長に依囑して處女會(婦人會)の所在地、名稱、創立年月、會長氏名を記載せる臺帳を編纂せり。(未だ完成に至らず。)

四、地方巡廻講演

創立以來地方處女會の大會又は講習會に出演せること百餘回出演區域は大分、廣島、滋賀、岐阜、福島、群馬、栃木、靜岡、埼玉、和歌山、三重諸縣に及ぶ。

五、工場巡廻講演

大正八年九月以降工女を修養向上するの目的を以て富士瓦斯紡績三田土ゴム、東亞綿絲其他工場と連絡して、修養講演を爲せること數十回、現に續行しつゝあり、富士瓦斯保土谷工場は中央部と連絡を保ち、工場處女會を設立し、大正九年一月十九日發會式を擧行せり。

六、見學婦人團體援助

大正八年十月十九日群馬縣新田郡烏之郷村婦人會四十六名一泊見學旅行を試み入京に際し、工場、敎育博物館、女子高等師範、內務省、貴衆兩院、新聞社、汽車乘降、勞働住宅其他の見學を援助せり。

七、身上相談(職業紹介)

『處女の友』を介して身の上相談部を設立し、忠實なる相談對手たらんとし適當なる就職口にある每に便宜職業を紹介しつゝあり。

八、活動寫眞映畫の作製

地方婦女子の都市漫然集注を覺醒すべく中央部理事の脚色に係る『都に憧れて』三卷及模範處女會(廣島縣沼隈郡千年村及山波村)の事業を撮影し、お茶の水敎育博物館に開催せられたる生活改善展覧會期中映寫せり

九、全國婦女訓の及處女會歌設定

わかり易き婦女訓を設定する必要を感じ理事協議の上『强く優しくまじめに働け』を設定せる外大正九年二月葛原齒氏に作歌を小松耕輔氏に作曲を依囑して、地方處女會歌を作れり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

教へ草

○我兒を火の中へ

いま火事でさへわが心私慾におほはれしゆへ、それ火事といふ。命がおし財寶がおしく、其外の慾にからまされ心さだまらず。靜かならず安からずしてわが子と思ひて枕をいだき、わが子を火の中にすてるの類多くある事なり。わが子と枕を違ふくらゐゆへ心のうちの了簡どころではなきをしるべし、又平生は暗夜にても我が子の通るをば足音にても、しばぶきにても知れるは、心の安く靜かなるゆへなり。それほど暗夜にても知る我子を日中に枕と思ひて火へ投ずるといふはこゝろくらむゆゑ目もみへず耳も聞えずしてかゝる事を成行くなり。其原はたゞ私慾性慾に我心くらみてまづ其止まるべき理を知らぬ故なり(樂翁公大學講義)

○八十の手習

說苑に曰く、昔の平公師曠といへる臣下に問ふて曰く我年七十に及べり學ばんと欲すれども恐らくは日くれて道遠くして終にまなび得がたからん事を、とありしかば、師曠答へて曰く然らば何ぞ燈火を照らしてせざるや。臣きゝ侍るは幼にして學ぶは日出の陽の如く、壯にして學ぶは日中の日影の如く、老いて學ぶは蠟燭の光の如し。暗に行くに燭をとるとどらざるとは何れが明らかなるぞと申せしかば、平公たゞよし〳〵といらへ玉ひしとなん。老いて學ぶことかくの如し年よりといへども豈學びてあしきことあらんや。是の事深く味ふべし(人言草)

○道歌

ふまれても根つよく忍べ路芝の
　やがて花咲く春をこそまて

末つひに海に入るべき谷水も
　しばし木の葉の下くぐるなり

憎むとも憎み返すな憎まれて
　憎み憎まれはてしなければ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

猪苗代町處女會みやげ

○お心得のかず〳〵

一、偉人は女子の一心によつて育つ
二、女子の道に公私の二方面あることを忘れるな。
三、家政をとゝのへ子供を育てよき趣味を持つは婦人の三役である。
四、姿を正しくし言葉をつゝしみ操を保ち女子相應の仕事に通ずることは婦人の四德である。
五、慾深きこと、小言をいふことそねむこと、やきもちをやくこと、みえをはることは婦人の五惡である。
六、女子の責任をさとること、學藝をさむること、職業をいとなむこと、結婚をすること母たるの務をなすこと、姑に事へることは婦人の六大事である。

婦女訓

つよく
やさしく
まじめに
はたらけ

處女會中央部撰

○春のうた（田舍娘のほこり）

霞にほゝゑむ岡邊の櫻
陽炎もえ立つ廣野の菫
鶯雲雀の樂しき歌も
これみなやさしき女神の賜びし
野を守る處女の我等が幸ぞ
野を守る處女の我等が幸ぞ

○面白ひと思つた道歌一二三

樂しみは春の櫻に秋の月夫婦仲よく三度食ふ飯
世の中は何のへちまと思へどもぶらりとしては暮されもせず
思ふこと一つ叶へば又二つ三つ四つ五つ六つかしの世や

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○今日の主なる御客様

古川俊壽先生

若松市北小路の產科の御醫者さんです
おいそがしい間をわざ〳〵お出下さつたのです

伊藤喜左衛門殿

猪苗代警察分署長さんです公務を繰合つて御講演を願つたのです

常盤一二三君

浪界の名人です 餘興として 一席の 演奏を煩しました。

○本年度の豫定

一、五月の小學校運動會の折は處女會が主催となつて高齢者の慰安招待をなすこと
二、春と秋と二回の總會を開くこと
三、秋期に遠足旅行をなすこと
四、次の日に月次修養會を開くこと
七月三十日　（舊六月十五日）
九月廿六日　（舊八月十五日）
大正十年二月十一日

猪苗代町外二ケ村組合處女會一覽

役員

會長　菅野三郎治

顧問
小林　藤吉　星　是美　渡部　清
鈴木　八郎　平山　三好　二瓶　惠滿
山口　尚　鈴木元三郎　古川　乙記
渡邊　雅己　佐賀　五郎　中川　廣喜
橋本　キヨ　眞田　ミワ　中川　ミノ
浦上ハツセ　筒井　操　遠藤　シモ

幹事
中村　サヨ　鹽谷　イシ　奥田　ヨシ
八子　千代　小林　キン　紀　チエ
○菅野　フサ　宇月　スガ　小檜山ハル
宇南山タツ　淺川タツヨ　鈴木　アサ
阿部　キサ　長沼　ナミ　岡田　ツル
笠間　ツギ　大東　スエ　飯野　キヱ
長谷川ツヨ　五十嵐マツ　氏田　サタ
遠藤　シン　穴澤　トラ　後藤カネイ

會員
新町廿四人　本町十八人　四ッ谷十二人
中町　七人　土町　六人　名古屋町七人
九軒町北窪五人　古城町半坂十五人　根次八人
見彌　五人　沼倉　六人　今泉　五人
澁谷十八人　長坂　七人　計百五十三人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

千葉縣の處女會方針

一組織

1. 會員は義務敎育を終へ結婚するに至るまでのものを以て正員となすこと但し三十歳を超えざること

2. 既婚者にして年齡三十歳以内のものを以て特別會員となすこと

3. 會長には其の町村在住の知識德望ある成年以上の女子を推戴すること

4. 町村長小學校長其の他知識德望ある有志者を顧問とすること

5. 町村小學校女敎員及知德の勝れたる成年女子を以て指導者となすこと

6. 事務所を町村立小學校内に設くること

7. 土地の狀況により各部落に分會を設くること

二集會

1. 集會は成るべく農閑時期祭日等を利用し毎月一回以上となすこと

2. 毎年一回總會を開き諸般の協議をなすこと

三施設

1. 講演會講習會實習會等を催すこと

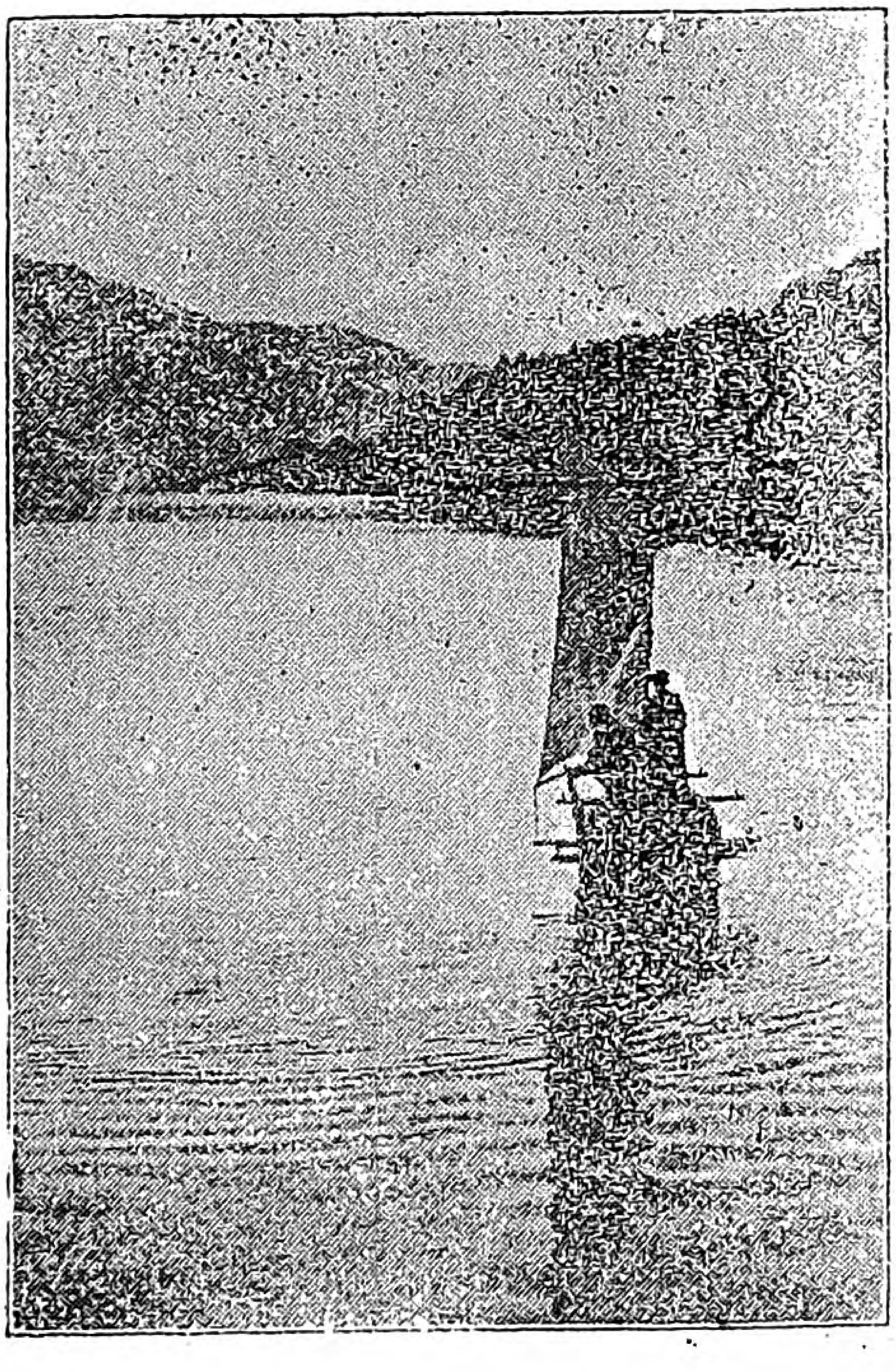
2. 遠足旅行巡回見學等を催すこと

3. 共同作業をなすこと

4. 展覽會品評會等を催すこと

5. 適宜會報を發刊すること

箱根蘆の湖



（神奈川　きみ子寄）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

6. 圖書館を設け圖書雜誌の閲覽を圖ること
7. 會員の經驗談又は實驗談をなし互に思想の交換をなすの機會を作ること
8. 小學校及女子補習學校との聯絡を密接ならしむること
9. 地方改良及公共事業の援助をなすこと
10. 婦風會敬老會又は貧困者罹災者救助の如き婦風化育慈善の事業を劃策すること
11. 副業貯金等の奬勵を圖ること
12. 町村内氏神の參拜をなすこと
13. 大祭日國民記念日には一堂に會して祝賀式を擧ぐること
14. 孝子節婦又は良會員の表彰をなすこと
15. 會員相互の吉凶慶事及慰問をなすこと
16. 會員各自日誌の記入をなすこと
17. 緣組の場合に於ける相談相手となること
18. 出席奬勵の爲め娛樂的設備をなすこと
19. 處女會中央部と連絡を圖ること

四、經費

1. 經費は會員の出費有志の寄附金並會員の勞役による收益を以て充當すること

五、基本金

1. 經費の一部を基本金に蓄積すること

之を要するに處女會の盛衰は指導者其人を得ると否とに歸すと云ふも過言にあらざるべし之が指導の任に當らんとするものは先づ己の德操を研ぎ強健なる身體を持し常に各般の知識を修得し其の町村に於ける先覺者として處女は勿論父兄母姉の信賴の標的となり且つ常に是等の顧問たるの識見を有せざるべからず又處女の直接指導者として努めて會員との接觸を圖り能く其の心理を洞察し其の地位境遇に深き同情と理解とを有し親切丁寧に之を善導し向上せしむる事に留意せざるべからず(千葉縣廳より文部省報告)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

敬老劇『老の幸』(上)

小佐田良

時　田草取と秋蠶の眞最中
時間　午前九時より十時すぎ迄の間
人物　老婆八十二歳身體極めて達者、耳遠し、
主　婦　　長男(尋六)
長　女(尋四)　次女(尋二)
他に長女の學友五人
郵便配達夫(出演なさず聲のみ)

第一幕

老婆腰をたゝき乍ら

老婆「どうしたのやな、たつた今此處へおいたと思ふたに」

と云ひながら叢を捜す。

老婆は家より四五町離れたお寺へ日參す、その歸りに木蔭に一休みして杖を置き忘れ、その邊りを捜す。

やがて老婆は腰をのばし懷から眼鏡を出し掛けてもと來た道の方を見る、そこへ五人の風呂敷包みを持つた女生徒來り老婆の側に立ち寄り、

甲娘「まあ藤屋のおばあさんぢやありませんか」と覗きながら又

甲娘「何か落しなさつたの」

しかし老婆は耳が遠くて一向聞えぬらしい。相變らず捜して居る。

乙娘「おばあさんさつきからしきりに捜しておいでの樣ですが何か落しましたの。」

云はれて漸く氣付き、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

老婆「まあ暑いことやなあ。今日の樣な日にも學校へかな、ほんとに御苦勞さんやなあ」

細い目を一層細く三日月の樣にしてふくよかな微笑を湛へる。するとそこに居た外の友達があまり耳の遠いのに思はず吹き出さうとする、これを甲娘制し、又重ねて

甲娘「何か落しましたの」

一層大きな聲できく。

老婆漸く氣付いたらしく、

老婆「はい私はなあ、今持つて居りました杖がなくなりましてなあ。笑止な事や」

云ひ乍ら捜す。

甲娘「あゝそれやお氣の毒私達は目がいゝから捜して上げませう。」

早速五人はそこら中を一生懸命捜す。やがて丙娘老婆の休んだ石の横の所にあつたを見付け、

丙娘「これですか」

老婆へ渡すと老婆非常に嬉しそうに

老婆「あゝありがたい、ありがたい、どこにありました。まあ、目のよい事や。」

早速その杖をつき腰をのばして嬉しそうに、

老婆「まあ、よかつた御苦勞さんでしたなあ。ちつと此處でお休み。」

乙娘「お婆さんこそお疲れでせう。さあ／＼その洋傘私がさしてあげませう」

老婆「結構々々」

乙娘「まあ持たせて下さい。」

老婆「ぢやあ賴みませう。」

と渡す。

丙娘「そのおはち袋持ちませう。」

老婆「どうも御親切樣だがこれだけは」

丙娘「いゝじやありませんか。私達若いんですもの。」

老婆「ぢやあ遠慮なしに。」又渡す。

丁娘「まあ年の割合に元氣のえゝこと。」

老婆「えゝお蔭樣でまだこうしてなあ。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

老婆は學友五人に伴なはれて歸る。戊娘は乙丙二人娘の書物包みを持つて後につく。老婆振りかへつて

老婆「もう此處迄で澤山、大丈夫歸ります。」

甲娘「いゝえおばあさん向ふまでお伴して行きませう。」

老婆「有り難うさん、もう／＼、結構。」と、幕

第二幕

目の廻る程養蠶のために忙しい主婦、手拭ひに襷がけで蠶の床がへをしながら、時々外の方を見ては娘の歸りを待ちつゝ働いて居る。すると間もなく、

姉「只今。」

妹「お母さん」

二人で元氣のいゝ聲で母を見る。母は手を休めて

主婦「あゝお歸りだか。一寸お待ち、あのなあ」

姉「お母さん、お父さんは。」

妹「おばあさんは。」

主婦「お父さんはなあ何でも草取りに上の田へ行かねばならんとおつしやつて今のさきお出でたやうよ。」

と云ひ終るや急に

主婦「それよりもお前達二人は學校歸るなり暑うて氣の毒だけれど、一寸すぐおばあさんのお迎へに行つて來てお呉れ。」

二娘「はいいつものお寺。」

と云ひ乍ら元氣よく馳け出す、

第三幕

學友に手を引かれながら何か面白そうに話しつゝ歸り來る祖母を見つけ、

二娘「やあおばあさん。」

二人はまつしぐらにかけ付ける。

老婆「あゝ來てお呉れたかな。」

嬉しそうに杖により腰をのばし

老婆「やれやれ、誰方も御苦勞さん、みんな、親切なお子さんや、さあ早う歸つてお呉れ。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

姉「大きお世話になりました。」
丁寧に會釋する。
妹「ありがたうございました。」
姉にならうてお辭儀する、
甲娘「ぢやあ、これでお暇致しませう。」
二娘「左樣なら、ありがたう。」
他娘「左樣なら。」
老婆「どうも御苦勞さん。」
みんな歸つてしまふ。
妹「お婆さん、あのねえさん等にどこから送つて貰つたの。」
老婆「今日は久し振りに學校へ行つて面白かつたかな。」
とんでもない返事に、
二娘「おばあさん。」
笑ひながら大きな聲で又きく、

第四幕

姉妹にたすけられながら長椅子によりかゝる。

老婆「あーあ、とうとうおまゐりして來たな、御苦勞さん〳〵。」
すると早速、此方より襷はづしながら團扇片手に急き立ち顯はれし主婦
主婦「おばあさんお歸りなさいませ。お暑うございましたでせう。」
心をこめし涼風を送る、主婦老婆に身を寄せて愛娘に向ひ
主婦「御苦勞さんでした。又お氣の毒やが靜枝一寸お手拭ひを冷して。」
老婆「いゝえ、そんなに暑うなかつたがな、今日は何時もの木蔭で休んで杖を失うてな。」
主婦「あれそれはお困りでした。」
一向聞えぬ體、
老婆「丁度、そこへ靜枝の樣な學校の娘さん等が來てな搜して貰うたのよ。」
主婦「それは、宜うございました。」
老婆「その娘さん等は、ほんまに親切なお子さん等でな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

またわしを送らうと云うてわしはもう宜しいと云うてもまだ來てお呉れるのや。そこへあの子等にまた來て貰うての。」

主婦耳もとに口を寄せて

主婦「それはまあ宜うございました。私が迎へに出なければなりませんでしたのに。」

團扇の手を休めず、

老婆「いゝや、そこどこでない。忙しいのに。」

さつき退場せし靜枝、冷し手拭を持つて來て

靜枝「お母さん。」

手に渡す、

主婦「はい、御苦勞さん。」

主婦「おばあさん一寸。」

顔より手足を拭う。

老婆「あゝまあ、よい心持ち。スーとしました。さあ忙しいのにもう放つて置いてあつちへ行つて何かしてお呉れ。」

主婦「いゝえおばあさんに、網をちやんとそろへて置いて頂いてありましたお蔭で今日は、大變早う、床がへが出來ました。」

老婆「一人で困つた事やろうなあ。」

この間に

姉「あ、貞ちやん、廻覽成績をおばあさんに見せて上げない。」

二人はそれを取りに退場す。

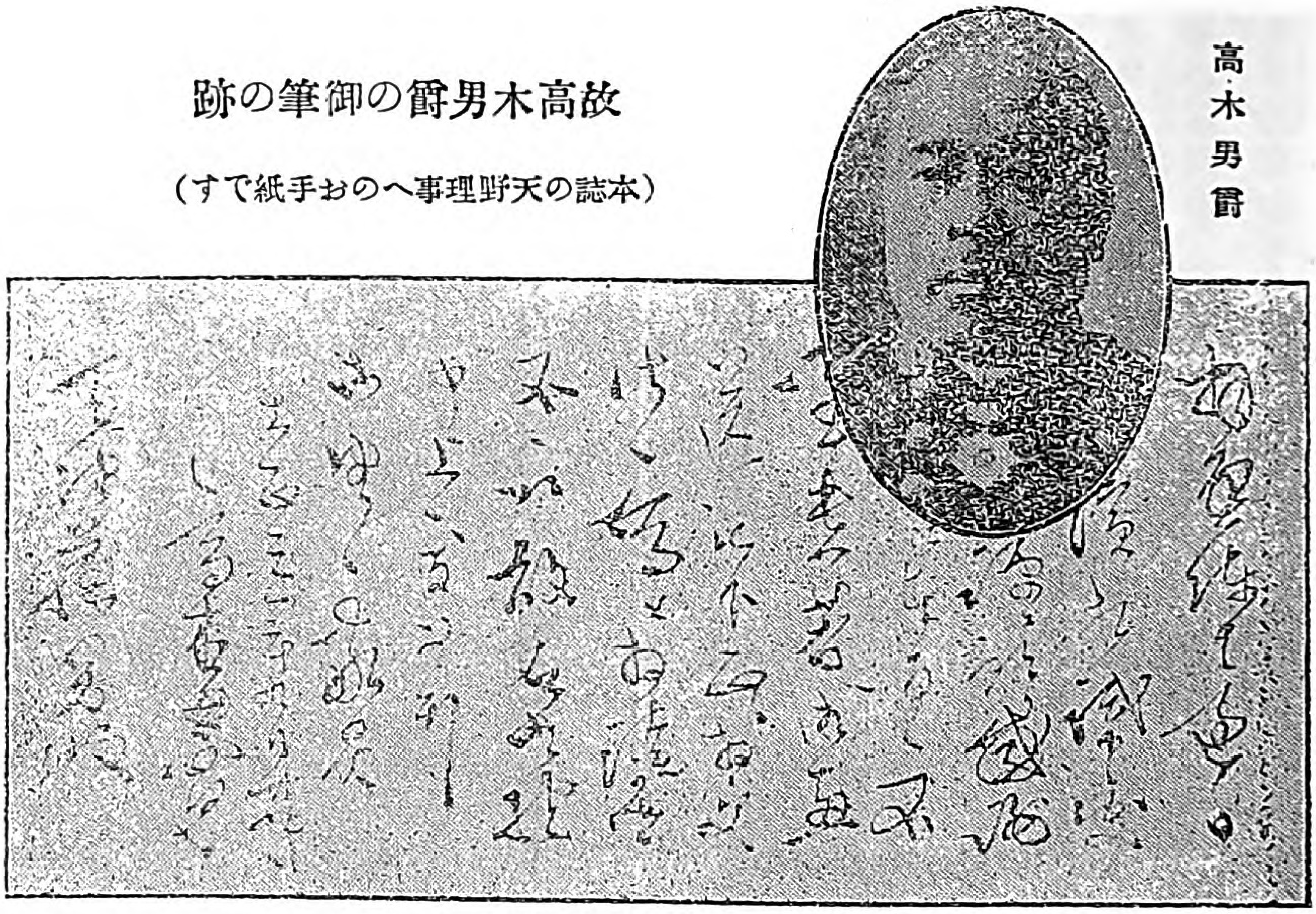
幕

廻覽成績とは本校年中行事の一つとして夏季冬季の休暇中各學年の圖書、綴方、書方等の成績物を各家庭の廻覽に供することになつて居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

故高木男爵の御筆の跡

（本誌の天野理事へのお手紙です）



高木男爵

高木男爵を憶ふ

貴族院議員男爵高木兼寛閣下が四月十三日におなくなりになりましたことは我日本の不幸でござります、男爵は地方の青年處女のことにつきまして、殊に熱心に御盡くし下されましたことは、誰も感謝して居ることでござります、本誌へも四月號に「お嫁にゆく地方の婦人へ」といふ有益なお話をなさいました、私が最後にお目にかゝりましたのは三月の中ごろだつたと存じます。嚴そかの中にほんとうの父君にでもおはすように、いつも溫顏を以て私たちを導いて下さいました。あゝそのお顏が見えるようです。閣下は貴族院議員の外に澤山の名譽職に就かれ、醫學專門學校を御自身で御監督なすつてゐられました、敎育界や、醫學界の恩人でございます。御葬式は十六日青山で營まれましたが、朝野の名士數千人で、さすがに廣い齋場も一ぱいでございました。先生は名高い無帽主義で、御自身が實行して居られました。又農村の娯樂について御心配下され、鎭守の祭と盆踊りを盛んにするように、多年說いて居られました。閣下のお話は尙澤山伺つてありますのに、あゝもう閣下にお目にかゝることが出來ません。悲しうございます。此に謹んで皆さんと共に閣下の御靈に跪いて悲しい心を申し上げます。（あまの）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會だより

(一) 會長さまの長唄

伊豫國河邊村坂本處女會　小西しげ子投

記者樣　私は伊豫の大洲町を五里ほど離れた、河邊村坂本の處女會員でございます。そして御誌發刊以來一冊もかゝさず愛讀して居ります、處女會長の東壽子先生から毎月送つて下さるのを、どんなに〱樂しくまつて居るでせう。さて去る四月廿一日正午より本會臨時總會を開きました、會員は申すまでもなく、來賓者も二十名から臨席されまして、それは〱盛會でございました、先づ一同敬禮、唱歌、君が代から初まり戊申詔書捧讀、新舊會員の挨拶や會則の朗讀、それから會長樣の「女の操」と云ふ題で烈女松江のお話から、色々身も心もひきしまるやうな御訓示があり總理岩井校長先生からも細々と私共の覺悟についておさとし下さいました、それから顧問の東瀧輔先生からは處女會訓『強く優しく眞面目に働け』の說明を、わかりやすく面白くして頂き、一同成程と感じました、來賓の方々から、有益なお話がありますし、會員談話も非常に賑ひました。議事々項では、大酒呑や、放蕩者等其の他一般の不良者と絕對に結婚せぬと云ふ規則をこしらへ、又結婚の場合は希望により、會長樣に御相談をして出來る丈の御調査をして頂く事になりました。色々と私共のため諸先生が御心配下さるのを、心から有難く思つて居ります、それから會の事業たる裁縫講習も、七月下旬に開く事になり、此度は羽織を縫ふ順ですけれど、特に單衣を三枚以上縫つて、其の內一枚は他家から請合ひ、其の仕立賃を會の方へ積立てる事にしました、會長樣からおつしやつたとき誰も異議を云ふ者はなくよろこんでみんな贊成しました。それから餘興の寶探しも大變おもしろく、長唄を會長樣からおしへて頂き、みんな夢中になつておけいこをしました。處

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

女會創立の歌をうたつて、おしきわかれをしたのは、早や五時頃でした、丁度此の日總理岩井先生は内子町へ御出張になるお忙がしい日でしたのに、私等のため時間を割いて御列席御講話下さつたのを、ほんとにうれしく感謝いたして居ります。

(二) 工場にゐらつしやる會員方へ

岐阜縣武儀郡坂ノ東村　島田やよひ投

皆様お變りはありませんか、本部のものも元氣でありますから御安神下さい、幹事柴田先生がお變りになつてからまだ後任のお方がみえぬので困つてゐます、それでも會報は出すつもりで外の先生方がお骨折り中でありますから五月中には皆さんの許へお屆けする事が出來ると思つてゐます、今度のは中央部の天野先生始め山脇先生の題字、座間先生や仙波陸軍中將閣下のわざ〳〵筆を執つて下さつたので必ず立派に出來上るつもりであります。御愛讀の處女の友は毎月お手許へ屆きますがよく讀んで下さい、よく味て下さい、外のお方にも見せて上げて下さい、そして強く優しく眞面目に働くことを夢のまゝ忘れぬやうにして下さい、皆さんおからだを大事にして下さい。左樣なら。

(三) 婦人會の誕生

福島縣大沼郡大芦村小野川婦人會長　菅家輝子投

私の村には昨八年三月より創めて小野川婦人會生れまして、

●目的＝現代婦德修養。風俗改善。貯蓄心養成。三綱目(本年三月廿日總會開催)

●實績＝現會員三十六名、來賓講話。普通作法實習。規約貯金勵行。現蓄金四十三圓二十錢餘の實績なり。

●主義＝勤勞節約奢侈を誡め、浪費を省くにあり、葉上の涓滴も遂には蒼海の巨浪を成し、零碎の蓄財も積ては億萬の巨額に達す、ゆめ、おこたる勿れ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

(四) 神奈川縣高坐郡大澤村處女會發會式の狀況

萩原一郎氏投

大澤村は村治行政成績佳良にして模範村として既に表彰せられたる六百有餘の醇朴なる農村なり。

青年會としては神奈川縣廳より事業團體として風紀の改善諸事業に着手して成功したるの事蹟を以て表彰されたる土地なり。

而して各部落十數年前より處女會設立されたるも未だ統一的のものあらざりき村内の有志及村長、小學校長奮然として之れが統一を青年會幹部に協議し幹部之に共鳴贊同し大正九年三月三日女子の節句を以て一村統一の處女會の發會式を擧行したり。

當日の順序次第書

一、一同着席敬禮　二、村長開會ノ辭　三、小學校戊申詔書奉讀　四、假處女會長會則發表決議　五、役員決議　六、實行要目決議　七、高坐郡長殿ノ告諭　八、來賓ノ演告　九、處女會員ノ答辭　一〇、閉會ノ辭

中　晝

一、講　演

二、餘　興

當日は各支部會場に集合し一同整列して尋常高等大澤小學校なる會場に蝟集し定刻開會、安西村長開會の辭、小松校長戊申詔書奉讀、大正九年の實行要旨の決議、元郡會議長の演告、處女總代笹野きくの答辭あり午後神奈川女子師範學校敎諭兼高等女學校敎諭勝山直吉氏の趣味講演あり快樂の裡に散會したり。

(五) 高野村高根婦人會の近況

去る二月二十六日午後一時高根婦人第五回總集會を開催し、會務會計會員異動報告をなし、前役員滿期に付後任者選擧投票の結果、會長高田シマヱ副會長福岡アサヱ、會計係川井ミサノ以上再選、幹事上江イノ、福岡ヨシノ、橋詰カメノ、岡北タケノ、向井花子尾タマヱ、以上新選。前幹事上岡淸子、上坊才榮、優良婦人として表彰をなし、色谷杖ケ薮校長高野山子供會講師吉本俊海師の有益なる講演に次で、午後五時高田高根校長の閉會の挨拶ありて、會員一同記念撮影をなしたり。

因に本年度處女會員三十五名母の部會員十七名にして積立金八年十二月末現在百八十二圓〇五錢勸業債劵十圓劵五枚を算ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい。長いお話は御免下さい　後れた方は次の月

○長閑な春は山里にも來ました、無心に囀る鳥の聲に誘はれ樂しく田畠に働いて家に歸つてこの「處女の友」を讀むのを何よりの樂しみとしてゐます、（福島縣大沼郡度川村見島てい子）

○先生あの美しい櫻も散つて若葉の節となりましたれ、暖い春風に吹かれて白てぬぐひをひら〱させながら水田に鍬もつ少女の姿がたまらなくなつかしうございます。樂しい野の幸はこれからですのれ、（島根房女）

○いつしか櫻の花も散りはてゝ野山のみどりが濃くなりました、所々に眞赤な花も咲きまじり、谷間のふじや山吹は美しく咲きそめました、おなつかしき先生初め誌友の姉さま健やかにお暮らし遊ばされますか、唯一人おとづれる人もない淋しい〱山の中に毎日靑き麥畑や山のみ眺めつゝ機織り野に暮らす少女でございます、「處女の友」の御敎の下にて誠に樂しく暮らします（神奈川縣與瀨町　山下ゑみ子）

○私は出雲の片田舍で昨年の三月から本誌の愛讀者となりました。私は毎日强く樂しくまじめに働く處女の友子さんの姿を見る時を何よりの樂しみとしてゐます、皆樣よろしく（島根縣簸川郡灘分村湯淺ゆき子）

記者曰く、强く優しくまじめに働く處女の友子さんは面白うございます

○久しく御無沙汰致しました。だん〱田舍の方も忙しくなりました、お目にかけましたのは、松江城の千鳥城でございます、あたりは梅の水でありまして今頃はなんとも言へぬ眺めでございます（島根縣簸川郡灘分村　常松サツノ子）

記者曰く、御はがきありがたうございます、次號に掲げます

○何卒私も誌友くらぶにお仲間入りさせていたゞきたうございます、野の幸を御一緒にうたひませう（宮城縣登米郡石越村　幸岐愛子）

○不束な私は京の田舍に住む乙女です、櫻花の散つた四月から御誌の愛讀者となりました、有名な諸先生の御話は農村の處女に最も有益なものばかりです、皆樣何卒よろしく御交際を（京都府何鹿郡志賀郷村谷岡節）

○お始めて申上ます、皆樣御變りはありませんか、お伺ひをします、私は昨年の暮より處女の友を拜讀致して居ります、色々爲になる讀物も載つてゐますから、近所の會員にすゝめてゐます次號はお早く願ひますさらば（宮城縣本吉郡歌澤村名足河田さとみ子）

○私は江州の片田舍の處女です、都の先生よろしくどうか御指導を願ひます、私は御誌を無二の友として樂しく月日を送つて居ります、誌友の皆樣御交際を願ひます（滋賀縣蒲生郡市邊村三津屋河上かれ子）

○いつも〱有益なる記事のみおのせ下さいます事ほと〱感謝致します、私は最も淋しい田舍の乙女でございます、これから忙しくなるについても、彼の有益なる處女の友を何よりたのしみとして疲れた體も打忘れ働くことが出來ると思ひますと、うれしうございます（福島縣双美郡關原ふぢ子）

○私は海山遠くへだてた讃岐の野原にすきくはを手にして毎日はたらいて居ります、私は今年二月より父母の許しを得て、處女の友の愛讀者となりました、今迄は日々淋しうありましたが、月々處女の友が來ますのが、心强うございます（香川縣仲多度郡垂水村岩井つや子）

○私は本年二月から御誌と親しみを交へる事の出來る樣になりました、以前の愚かな考をすてゝ家業にしたしんで居ります、農は百工の基、私たちの働きは一家一村延ては御國のためと信じます（大分縣西國東郡燮讀女）

○日增しに暖くなりました、記者樣にはお變りはありませんか、お伺ひ申し上げます、我が身の不遇を悔む方々が、御誌のお指圖によつて本當に救はれると存じます。記者樣はじめ皆樣何卒御交際を（高知縣香美郡今地村尾立澄子）

○記者樣よ、まあおきゝ下さい、私は來年の春學校を卒業する娘でございます、何でも下手ですけれども、作文習字など投書致したいと思ひますから惡るい所はお直し下さい。私の住む村落は、見爾山と申しまして山の麓にあります、記者樣さうに御承知でせうが、土津神社といふ神社がございまして、北に磐梯山南は猪苗代湖を望みまとによい景色でございます、（福島縣猪苗代町見爾山字土町淺川みさ子）△記者曰く、一度あそびに參ります、方々案內して下さい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○『處女の友』誌友名簿（四）

群馬縣新田郡太田裁縫女學校長　常見　ろく
同　同　同　女學校　島田　ゆき
同　同　同　同　關谷　がれ
同　同　同　同　關田　つれ
同　同　同　同　林　こう
同　同　同　同　高木　庭歌
同　同　同　同　茂木　擧子
同　同　同　同　渡邊　タカ
同　同　同　同　相川　さら
同　同　同　同　横山　きく
同　同　同　同　對比　[illegible]幸
同　同　同　同　木村　たけ
同　同　同　同　高澤　ひろ
同　同　同　同　根岸　きよ
同　同　同　同　丸岡　たつ
同　同　同　同　河田　まん
福島縣双葉郡長塚村處女會長　大谷　保
同　同　同　處女會副會長　岩東　マス
同　同　同　處女會員　大堀　キイ
同　同　同　同　小磯　百合
同　同　同　同　鈴木　撫子
同　同　同　同　佐藤　ツネ
同　同　同　同　渡部　ヒメヨ

福島縣双葉郡長塚村處女會員　畑中　シゲ
同　同　同　同　紺野　ヨシ
同　同　同　同　竹村　チヨウ
同　同　同　同　新妻　イノ
同　同　同　同　脇坂　トミ
同　同　同　同　淺井　深雪
同　同　同　同　前田　マツ
同　同　同　同　天野　コウ
同　同　同　同　登城　マツノ
同　同　同　同　志賀　キイ
同　同　同　同　金井　ハル
同　同　同　同　石田　タツヨ
同　同　同　同　岩東　ケサヨ
同　同　同　同　上野　フジ
同　同　同　同　島田　スミ
同　同　同　同　中野　ハナ
同　同　同　同　山崎　コウ
同　同　同　同　根本　ミサチ
同　同　同　同　山田　カノ
同　同　同　同　野村　ヨシイ
同　同　同　同　井戸川　ケイ
同　同　同　同　田中　ヒデ子
同　同　同　同　山田　ミネ
同　同　同　同　堀川　ウタ
同　同　同　同　吉田　ヨシ

福島縣双葉郡長塚村處女會員　菅本　ヨシノ
同　同　同　同　西山　ヨネ
同　同　同　同　西山　イネ
同　同　同　同　千代田　サダ
同　同　同　同　松浦　キクミ
同　同　同　同　押原　ミイ
同　同　同　同　小野　ハナ
同　同　同　同　笠原　フジ
同　同　同　同　一ツ石　キクヨ
同　同　同　同　朝田　スミ
同　同　同　同　泉田　カク
同　同　同　同　安井　タケヨ
同　同　同　同　守家　敏
同　同　同　同　高野　シゲヨ
香川縣仲多度郡垂水村處女會長　小松　[illegible]
同　同　同　處女會員　白川　ツネ
同　同　同　同　瀧口　チカエ
同　同　同　同　西岡　マツエ
同　同　同　同　屋松　ミスエ
同　同　同　同　今田　千代
同　同　同　同　渡邊　ミサ
同　同　同　同　江戸　シズエ
同　同　同　同　今田　マスエ
同　同　同　同　植松　シユ
同　同　同　同　堀井　アキエ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文 （田舍の友へ／町の友へ／工場の友へ）

和歌 （題隨意一人三首）

俳句 （題隨意一人三句）

考へ物 （下の題を見よ）

習字 （半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞

田園生活の感想

有利なる副業内職

地方篤志婦人の事蹟

田舍より見たる都會

第三種

處女倶樂部 （はがき一人一通）

衞生問答 （一人一問）

處世問答 （一人一問）

處女文藝

和歌

蛙鳴く頃とはなりぬ何んとなく
まだ見ぬ友のなつかしきかな
宮城 二階堂たかを

○

豊川の祭の朝を花かすむ
大槻山の美しきかな
岐阜 島田やよひ

○

夕暮の鐘の音に送られて
黄昏かへるわが一家かな
熊本 本山八千代

○

春風はこれしきものよひら／＼と
白手ぬぐひをゆるがしてゆく
島根 山根ふさの

○

病みませる母が枕邊近よりて
ものいふ妹のあはれなしかな
滋賀 中川とく子

○

朝きりやかすかに見ゆる茶畑の
茶つむ乙女のうたきこゆなり
滋賀 田原靜子

○

母はよぶすぐにお側へと急ぎつゝ
二針三針縫ふ刺繍かな
三重 宇佐美こよ

○

ほとゝぎす泣くな我家のほとりでは
病みたまふ兄上の心病ませば
廣島 沖元豔子

五月號考へ物の答

五月號考へ物の題は「往きは二人でかへりは一人になるものは何」一番多くありましたは往復はがきといふのが一番多くありましたその外針と糸。といふのもありました。お嫁に連れて行く母親なごといふのもありました。皆正解者の中に入れましたくじびきで左の方々當選されました。

○山梨縣北都留郡梁川村 梶原さくゑ
○千葉縣印旛郡和可村 山本つれ
○島根縣太原郡佐世村 野々村ヨネ
○東京府下西多摩郡稲生村 木村代
○山形縣西村山郡西山村 設樂千芳
○福島縣耶摩郡猪苗代町 大竹米
○長野縣下伊那郡山本村 鵜澤みほ
○茨城縣稻敷郡太田村 油原せつ
○北海道雨龍郡雨龍村 太刀川タツ
○福島縣大沼郡藤川村 兒島たみ
○岐阜縣加茂郡古井村 郡是製糸場内 田口若
○滋賀縣蒲生郡市邊村 田原キト
○京都府何鹿郡志賀鄉村 谷岡節
○廣島縣御調郡宇津戸村 秦はるか
○府下大島町小名木川工場 瀧タキ
○群馬縣新田郡鳥之鄉村 森千代
○長野縣諏訪郡平野村製糸場内 山岡ちよ
○東京市外大崎町上大崎 仙田米
○新潟縣三島郡脇野町 新保せき
○福島縣安達郡針道村 淺野すい

考へ物新題

柿の木化して女となる何か

〆切六月十日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◦編輯だより

○青葉若葉のよい時節となりました。皆様の御清榮を喜びます、滿二週年を記念として中央部も發展の協議を致して居ります。尚これをよい折として、讀者の倍加運動を致したうございます。皆様が讀者を一人づゝふやしていたゞいて今の倍にするのが倍加運動でございます。どうぞよろしく。

○今度中央部では代理部を設けました。代理部は、地方の皆さんの爲に、書物やいろ〳〵のものを取次ぎ販賣するところであります、然し特に處女の友へ廣告を出しました商店は信用もあり品物もいゝのですから皆さん御申込みなさい。尚品物のよいわるいを見わけることも致しませうから御遠慮なく御申込み下さい。

○嘉悦理事は先頃長野縣の婦人會に講演に參られました、非常に盛大だつたさうです。各地の處女會婦人會の發達は著しいものであります。德島縣へも今計畫中であります。田所理事は先頃福島縣猪苗代地方に參られました猪苗代處女會の發展を大へん喜んで居られました。

○富士瓦斯保土谷工場では二十六日に工場處女會春期總會を開き餘興に歌劇月の世界からを上演するさうですすくわしくは次號に御紹介致します。

○天野理事はこれから地方にどん〳〵出張講演をなされる筈ですから休日祭日などの區別なく御申込み下さい。差し支へのない限り出演せられますさうです。然し當分の間は旅費だけ出していたゞきたいと云はれます。

○處女會の歌をおすゝめ下さい。尚近く、蓄音器も出來ます、吹き込みます方は、長坂よし子孃で有名な方であります。

○來月號には全國に懸賞を發表します。作文や和歌もよこして下さい。作文はつくらうと思つてはだめ、心にあるまゝ、胸に思つたまゝをかいて下さい。其が名文です

(君子)

處女の友改正定價表

每月一回一日發行

定價	定價	郵税	合計
一部	拾八錢	五厘	拾八錢五厘
半年分	壹圓八錢	不要	壹圓八錢
一年分	貳圓	不要	貳圓

廣告料	特別面	普通面
一頁	貳拾五圓	拾五圓
半頁	／	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎◎郵券代用は一割增のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正九年五月二十八日印刷納本
大正九年六月一日發行

東京市本鄉區元町二ノ六六
發行人 印刷人 田所猶猪

編輯人 天野藤男

東京市麴町區紀尾井町三番地
處女會中央部

東京市京橋區弓町十二、三番地
印刷所 千代田印刷株式會社

東京市本鄉區元町二ノ六六
處女の友發行所
電話小石川三一七四番
振替東京六一九〇番

大賣捌 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

中央報德會講師
內務省囑託 村田宇一郎先生著

町村自治會の活動

〔最新刊〕 定價四拾錢 送料四錢

戰後の對策として急務中の急務たるは、國の單位たる町村を堅實鞏固ならしむるに在り。本書は其方策として町村に自治會を組織し其の活動の方法を詳述して町村民の自醫自覺を促したるものなり。希くば浮華輕佻の迷夢より醒めて此の眞摯の言に聞く所あれ。

內容一班――一、緒言。二、自治會の組織。三、自治會役員の立場。四、自治會の活動。五、自治生活の實行。六、經濟生活の實行。七、道德生活の實行。八、二宮報德敎の概說。九、自治會員の指導方法。一〇、結論。

內務書記官田子一民先生著

米國禁酒の實戰

〔再版〕◈定價金參拾錢 送料四錢

世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者曩に歐米を巡遊し、親しく米國に於ける禁酒運動の由來と其沿革を究め、感慨禁ずる能はざるものあり、歸來自ら多年の嗜好たりし飲酒を斷ち敢て此一書を提供して同胞の反省に資せんとす、請ふ一讀あれ。

山崎延吉先生著

青年の自覺

〔最新刊〕 定價四拾錢 送料四錢

農村の指導啓發、農村靑年の師友を以て畢生の志願とせる山崎先生が、農村靑年の物めに、其の自覺に資せんが爲め著はされたるものの卽ち本書也。平易通俗の語を以て、極めて適切に靑年の自覺を勵めたるもの、眞に靑年の若き血と潑溂たる元氣を有し、將來地方の重鎭たり、國家の重きに任ぜんとする抱負ある眞靑年は、來て本書を一讀あれ。

內容一班――一、自覺の意義。二、境遇の自覺。三、性格の自覺。四、生理的變化の自覺。五、心理的變化の自覺。六、地位の自覺。七、責務の自覺。

愛知縣立農林學校長 山崎延吉先生著

婦人の覺醒

五版

定價二十五錢 送料二錢

本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔の同情を以て著はされたる者なり。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

青年圖書

大久保四洲著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁
定價四拾錢
=送料四錢=

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀△總クロース和紙堅牢無比△青年團中央部編纂
定價拾錢=送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲=△青年團中央部選△島崎東京音樂學校敎授作曲
定價五錢=送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢=送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田穩新著平明懇切總振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢=送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書△青年團中央部編纂△菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著青年の娯樂用課外讀本として好適
定價七拾五錢=送料六錢

地方青年の敎養

内務省監察官守屋榮夫先生著△青年團員敎養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

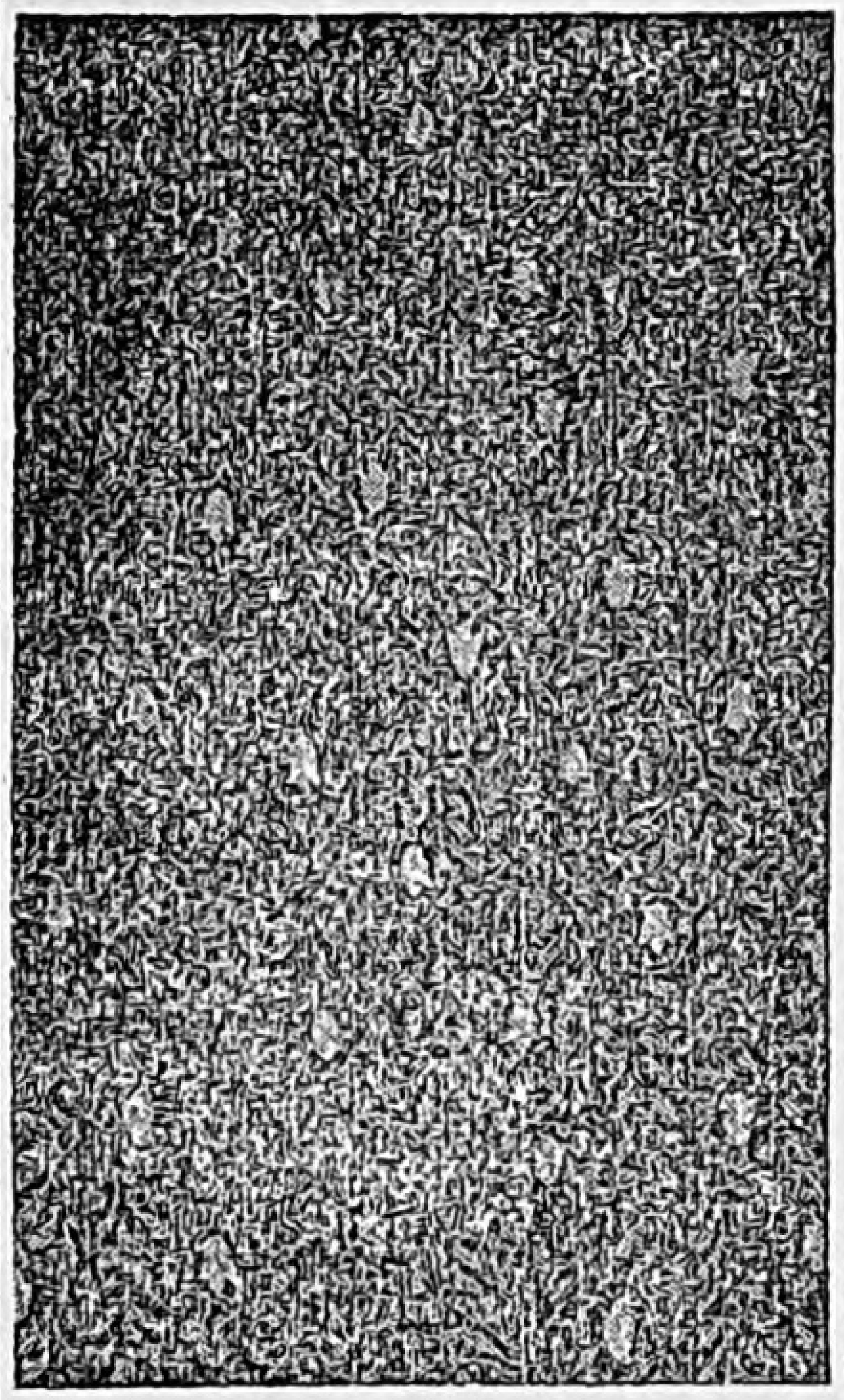
月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶、指導者の研究舞臺
修養、研究、向上娛樂の資料、各
團體の連絡機關
定價一部金十五錢郵税一錢、半年
分前金九十錢一ヶ年分前金一圓七
十錢

東京市麹町區永田町一丁目 帝國青年發行所 振替口座東京三一一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

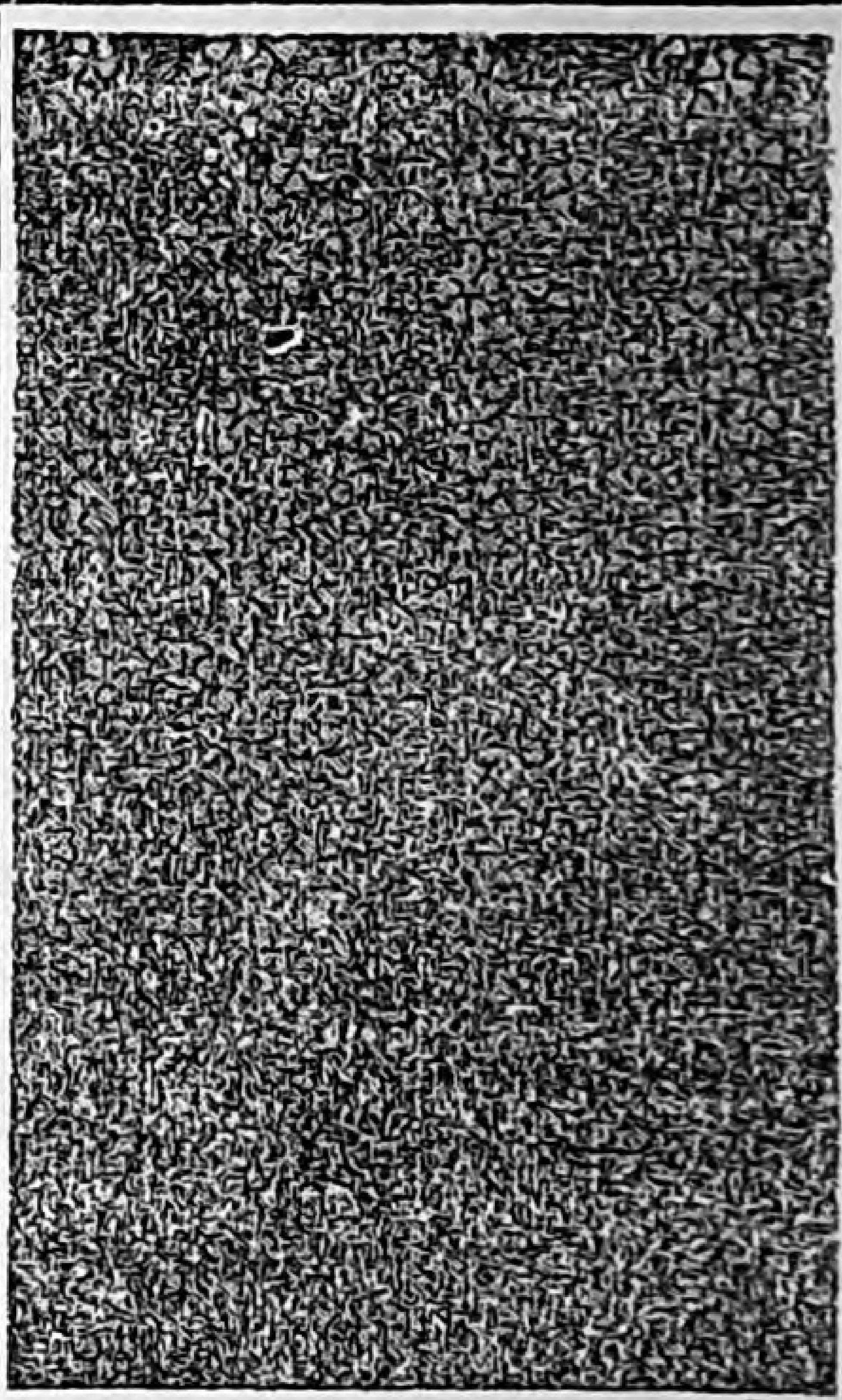
○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

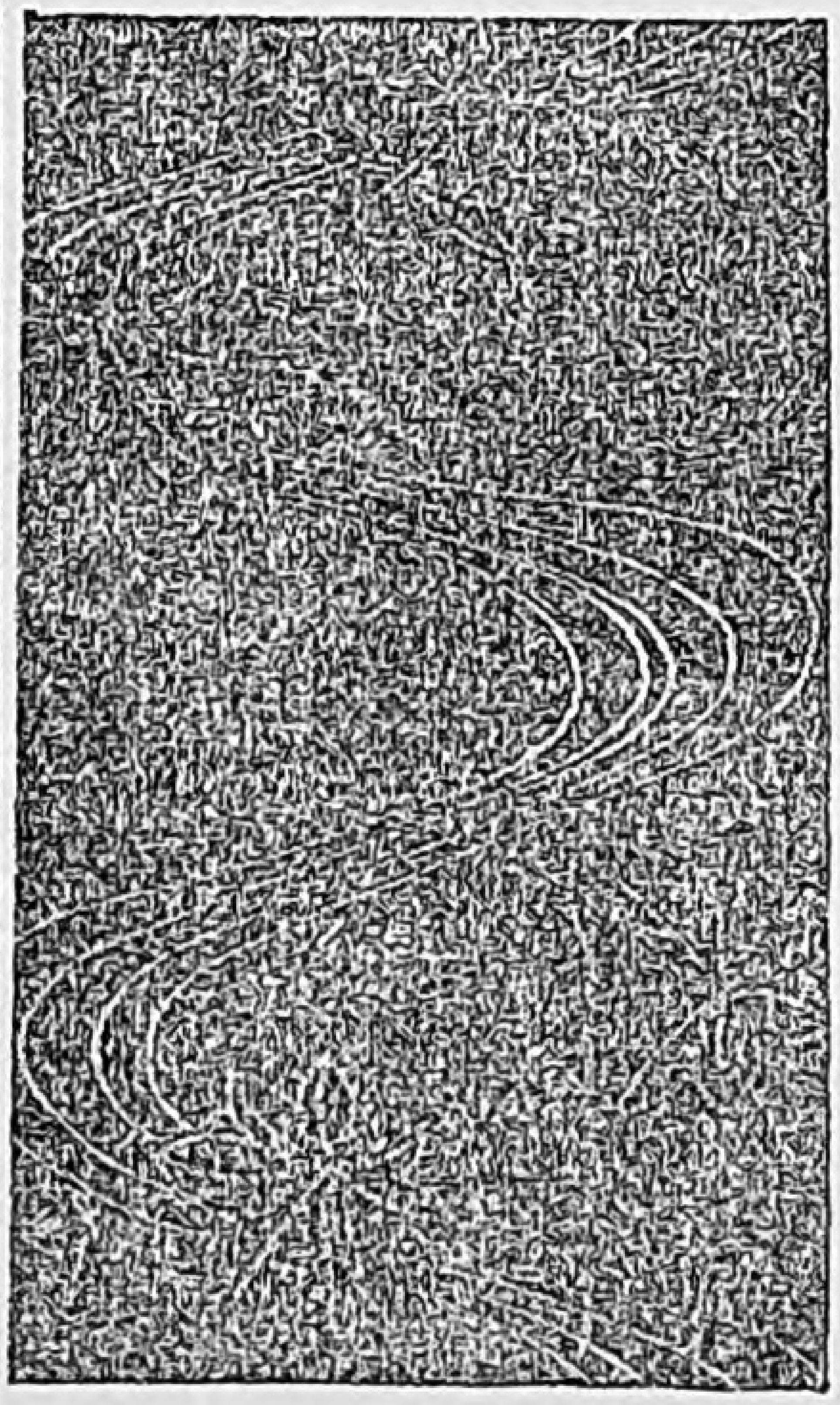


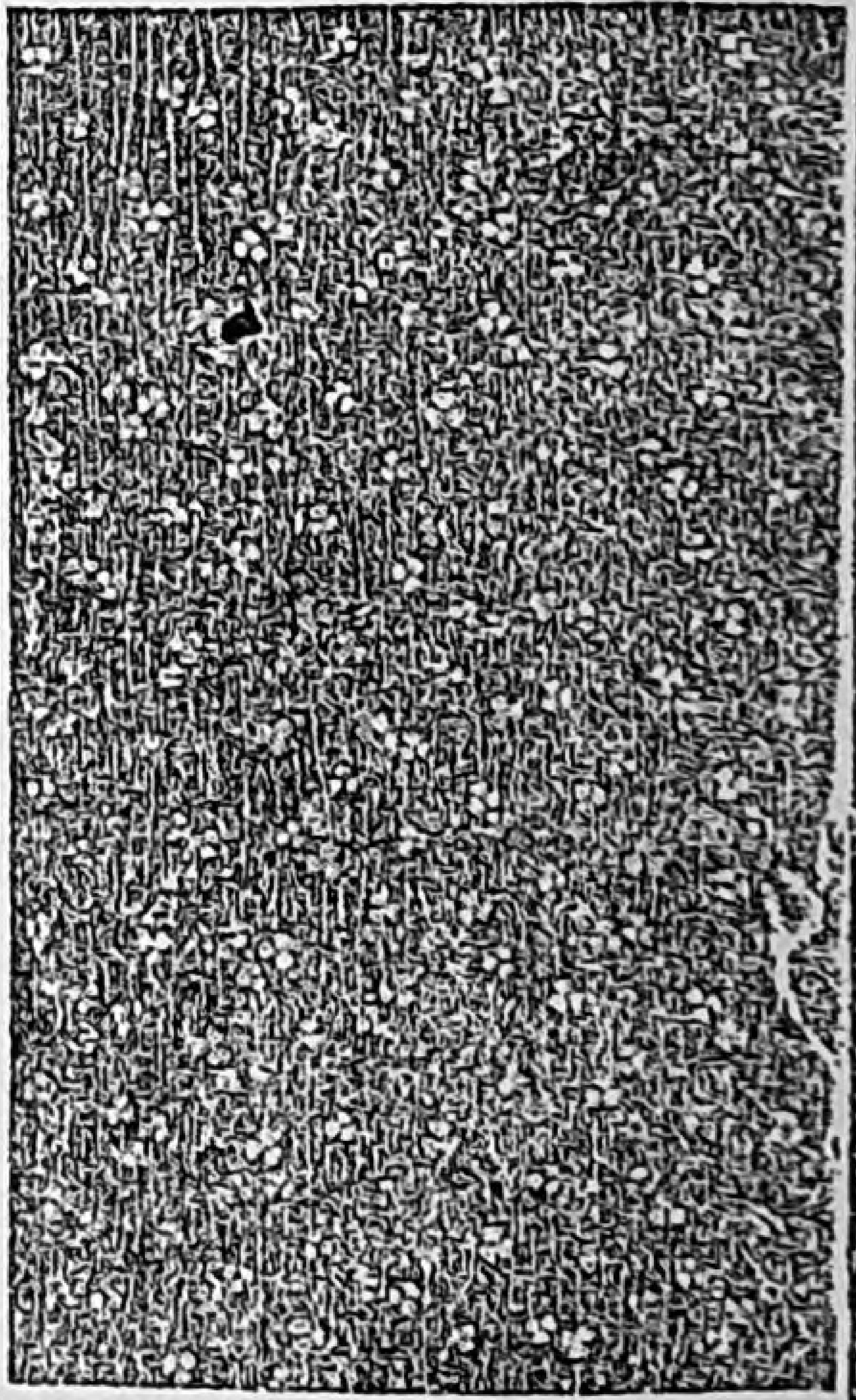
東京の夏を飾ざる
三越の中形浴衣地

中形浴衣は東京に限ります就中三越の品が良品の第一

柄のよい染めのよい氣の利たい中形は三越の品が第一







六月一日より

夏衣裳陳列

夏物格安反物賣出し

髪飾物袋物陳列

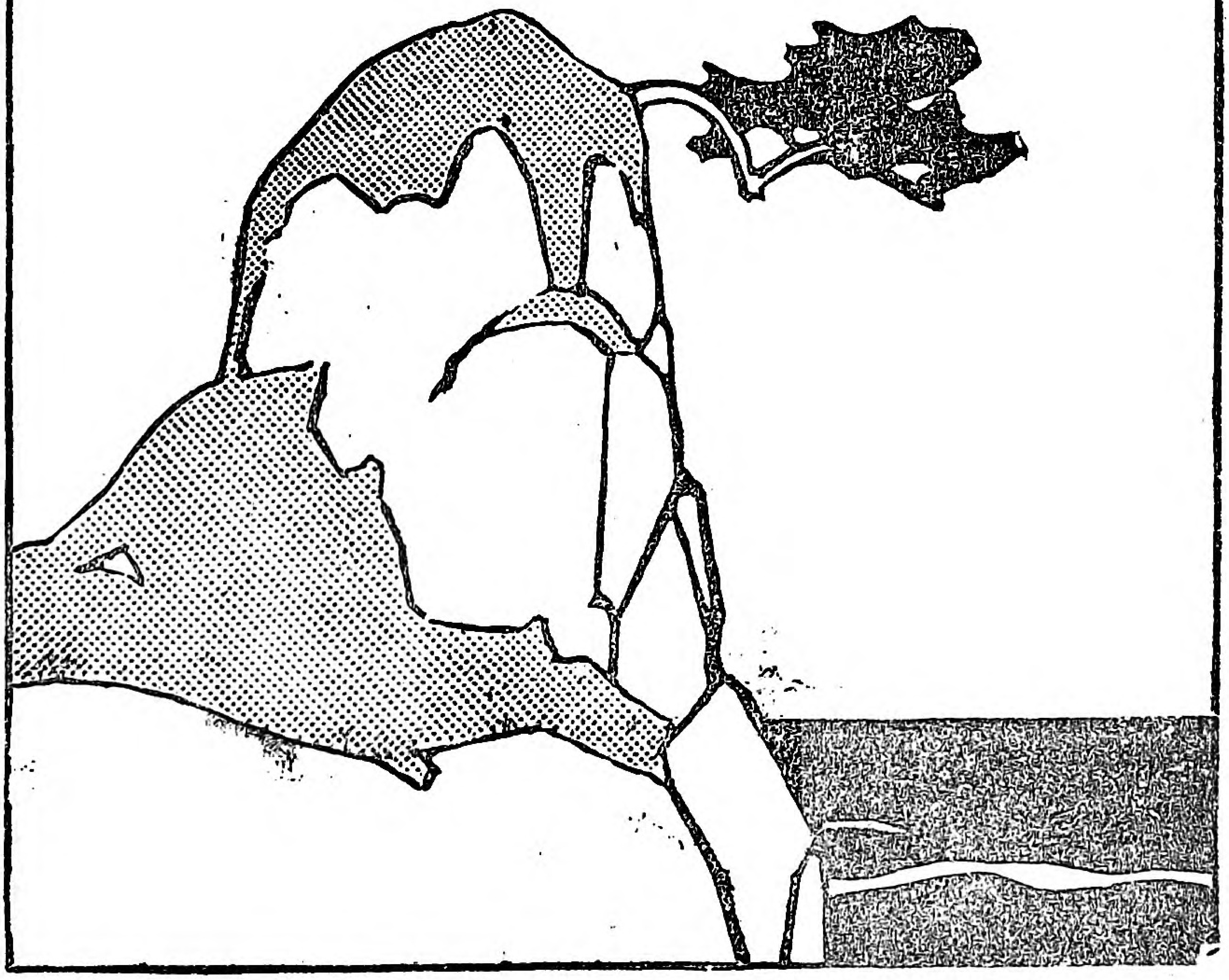
六月の定休日　第一日曜日（六日）　第三日曜日（廿日）

東京

三越呉服店

クラブ歯磨

生の歡びと新しい緊張を心ゆくばかり味つて下さい朝と食後のクラブ歯磨で！



大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年五月二十八日印刷納本
大正九年六月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN